

平成 30 年版

消 防 年 報

第 6 3 号

瀬 戸 市 消 防 本 部

はじめに

平成29年2月に発生した埼玉県三芳町の大規模倉庫火災においては、防火対象物における防火管理体制の重要性を再認識しました。施設の管理者及びその関係者は、防災面を含めた防火管理体制の充実強化を図り、火災など災害時の対応に万全を期する必要があります。

自然災害に目を向けると、平成29年7月の九州北部地方や平成30年7月に西日本一帯に甚大な被害をもたらした豪雨災害の他、大雪による道路交通網の遮断、火山の噴火や大型台風の上陸など、次々に発生する自然災害の脅威を目の当たりにし、防災・減災の重要性を再認識させられました。

超高齢化社会が進み社会構造が大きく変化する中、このような大規模災害に対して、防火防災関係機関のみならず、企業や市民などすべての人々が地域の枠組みを越えた協力体制を構築することが必要不可欠となっています。

本市は、今後も消防力及び消防体制の充実強化に努め、災害を未然に防止するだけでなく、万全の備えによって、安全・安心が実感できるまちづくりに取り組んでまいります。

この年報は、平成30年4月1日現在における消防体制並びに、平成29年中の災害状況等を収録し、今後の消防行政の効率的な運営と消防力の強化に資するとともに、消防事情を一般に紹介することを目的に編集したものです。

消防関係者はもとより、市民一人ひとりに活用していただければ幸いです。

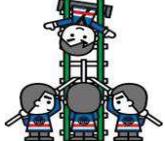
平成30年7月

瀬戸市消防本部

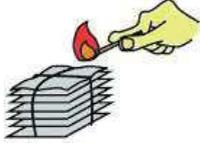
一 目 統 計

平成30年4月1日現在

面積・人口等 自然環境	面積	人口	世帯	気象(H29年中) P50
				
	111.40 km ²	129,900 人	55,388 世帯	年平均気温 15.3℃ 年平均湿度 68.5 % 年間降水量 1,515 mm

消 防 予 算 構 成 人 員	消防予算 P1	署所数 P5	職員数 P6	団員数 P7
				
	12億6,977万円 市民一人当たり 9,774円	消防本部 1 消防署 1 分署 2	130人 (内女性5人)	264人 (内女性24人)

消 防 車 両 水 利	ポンプ車等 P5	特殊車両等 P5	救急車 P5	水利 P16
				
	タンク車 3台 ポンプ車 4台	はしご車等 14台	高規格救急車 5台	消火栓 2,965基 防火水槽等 529基 (その他の水利を含む)

災 害 件 数 (H29年中)	火災 P27	主な火災原因 P28	救急 P37	救助 P45
				
	38件 出火率 2.9件/万人	たばこ 7件 こんろ 5件 ストーブ 3件	出動件数 5,340件 搬送人員 5,077人	出動件数 64件 救助人員 21人

予 防 消 防 関 係 団 体	防火対象物 P17	査察実施率 P18	危険物施設 P20	消防関係団体 P22-25
				危険物安全協会 321 会 員 自衛消防連絡協議会 16 事業所 婦人防火クラブ 10 クラブ 少年消防クラブ 30 クラブ 幼年消防クラブ 26 クラブ 瀬戸防火防災協会連合会 20 連 区 自警団 5 団
	4,617 件	20.6%	製造所 3 件 貯蔵所 222 件 取扱所 110 件	

平成29年実績値

指標	単位	初期値	実績値
出火率	件	3.8	2.9

※ 出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいう。(P27参照)

※ 初期値は、平成18年から平成27年までの平均値。

指標	単位	初期値	実績値
救命率	%	42.3	16.7

※ 救命率とは、目撃のある突然心肺停止及び除細動が必要な心電図波形(Vf・脈のないVT)である救急患者のうち、1か月後に社会復帰できた割合をいう。(P43参照)

※ 初期値は、平成18年から平成27年までの救命率。

指標(年度)	単位	初期値	実績値
消防団員数	人	253	268

※ 初期値は、平成27年度の数値。実績値は、平成30年3月31日現在(4月1日現在264名)

指標(年度)	単位	初期値	実績値
消防水利の充足率	%	98.6	98.6

※ 初期値は、平成27年度の数値。(P16参照)

指標	単位	初期値	実績値
住宅火災における 損害額	千円	47,941	20,147

※ 初期値は、平成27年中の数値。(P34参照)

平成29年度のトピックス

1 災害時協力事業所登録制度を開始

民間の事業所が持っているスキル、資機材、施設などを地域住民と消防機関に提供してもらい、地域の災害対応能力を向上する制度です。

平成30年6月現在、32件の事業所を認定しました。



2 高規格の救急自動車を増強配備

市内に配備する高規格救急自動車を、これまでの4台から5台に増強しました。

新型車両は、救命率の向上のため最新資機材を積載し、ボディに高輝度の反射材を採用することで視認性と安全性を向上させ、迅速で高度な救命活動を目指します。



3 祖母懐分団車を更新

平成10年から運用していた祖母懐分団車を最新の車両に更新しました。

新型車両は、電子制御の消防ポンプのほか、LED赤色警光灯、照明資器材、ホース延長用資器材等を装備しており、災害時はもちろんのこと、平時における消防団活動においても迅速で安全な活動を可能にした最新鋭の車両です。



4 住宅防火普及員認定制度の開始

住宅火災による死傷者の多くが高齢者であることから、地域単位での防火防災体制が求められています。

高齢者と接する機会の多い民生委員、地域住民および福祉関係者などを対象に、防火防災に関する講習を行い、住宅防火普及員に認定しました。（平成30年6月現在659名）



5 瀬戸市危険物安全協会創立60周年記念事業の開催

近年、直火に触れる機会が少なくなった幼少年を対象に、火の便利さや暖かさなどを学んでもらうため、全国でも類を見ない「夏祭り・こども火祭り」を開催し2,000人以上の親子が楽しいひとときを過ごしました。

また、創立60周年を記念して、消防活動用資機材（ドローン、三輪バイク）が消防本部に寄贈されました。



6 瀬戸市消防本部旗、瀬戸市消防団旗などを更新

瀬戸市消防本部及び瀬戸市消防団の旗を更新しました。両団体旗は、昭和30年頃から使用しており、経年により老朽化していましたが、「消防行政に寄与するために使用していただきたい。」との匿名による寄付を受け新しく作り直しました。

また、両団体旗のほか、平成28年度に発足した瀬戸市消防団女性分団の分団旗も今回の寄付により新たに作成しました。



目 次

【第1編】消防情勢（P1～10）

・5年間の市当初予算等と消防費	1
・平成30年度一般会計当初予算額	1
・平成30年度消防費の市民負担額	1
・消防本部・消防署・消防団組織図	2
・消防本部消防課の事務分掌	3
・消防署の事務分掌	4
・消防力の整備指針と現有消防力	5
・消防職員数	6
・消防団員数	7
・消防職員・団員数の推移	7
・消防職員・団員の平均年齢の推移	7
・消防職員派遣教養科目別実施状況	8
・消防職員研修実施状況	8
・消防職員・団員公務災害等発生状況	8
・消防本部車両運用状況	9
・消防団活動状況	10
・ガンバレ消防団応援事業所	10

【第2編】消防施設（P11～16）

・消防庁舎等設置状況	11
・消防車両等配備状況	12
・主な消防機器保有状況	14
・水防用資機材備蓄状況	15
・消防水利設置状況	16

【第3編】予防（P17～26）

・連区別防火対象物状況	17
・中高層建築物・地階用途別状況	18
・査察実施率の推移	18
・防火管理者選任状況	19
・防火管理講習実施状況	19
・危険物施設等連区別設置状況	20
・危険物施設に関する申請等の件数	20
・危険物施設等の10年間の推移	21

消防関係団体

・瀬戸防火防災協会連合会	22
・街頭消火器設置整備事業	22
・瀬戸市危険物安全協会	23
・瀬戸市自衛消防連絡協議会	23
・自警団	23
・瀬戸市婦人消防隊連絡協議会	24
・瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会	24
・瀬戸市幼年消防クラブ	25
・防災会	25
・安心・安全トピックス（わんわん消防隊、救急安心たまご）	26

【第4編】火災統計（P27～36）

・平成29年中の火災発生状況と前年との比較	27
・原因別・用途別火災状況	28
・初期消火実施状況調	28
・出火原因別（発火源・経過・着火物）火災発生件数	29
・署所別・連区別火災状況	30
・曜日別・月別火災状況	31
・天候別火災状況	31
・時間別火災状況	32
・10年間の火災状況	33
・10年間の出火件数と住宅火災件数及び損害額の推移	33
・10年間の住宅火災の状況	34
・10年間の住宅火災における出火原因別件数	34
・10年間の住宅火災における時間別死傷者数	35
・10年間の住宅火災における年齢別死傷者数	35
・10年間の主な火災	36

【第5編】救急・救助統計（P37～46）

・事故種別救急出動件数及び搬送人員	37
・署所別救急出動件数	38
・連区別の老年人口率と救急搬送率	38
・曜日別・月別救急出動件数	39
・時間別救急出動件数	39
・傷病程度別搬送人員	40
・年齢区分別搬送人員	40
・急病にかかる疾病分類別搬送人員調	41
・事故種別医療機関別搬送人員調	41
・救急隊員の行った応急処置状況	42
・応急手当普及啓発実施状況	42
・救命率の推移	43
・バイスタンダーCPR実施状況	43
・AEDステーション認定事業所数	43
・10年間の現場到着平均所要時間の推移	43
・10年間の救急出動件数	44
・急病・交通・一般負傷の出動件数10年間の推移	44
・事故別救助出動状況	45
・連区別救助出動件数	45
・発生場所別救助人員	46
・10年間の救助出動件数	46

【第6編】通信・気象（P47～50）

・消防指令センターの主な施設状況	47
・月別119番受信状況（受信時の種別）	47
・無線施設状況	48
・月別気象状況	50
・天候別日数調・月別気温状況・月別湿度状況	50

【第7編】資料（P51～55）

・消防本部の沿革	51
・消防相互応援協定	55

市 勢 概 要

瀬戸市は、名古屋市の北東約20kmに位置し、周囲を標高100～300mの小高い山々に囲まれ、気候も温暖なまちで、「せともの（瀬戸物）」という言葉が、やきものの代名詞として広く知られています。

良質で豊富な陶土に恵まれたこの地で、先人たちは新しい技術や文化を柔軟に取り入れ、「せとものまち」を発展させてきました。

長年受け継がれてきたやきものづくりの卓越した技は、多種多様なやきものづくりに繋がり、陶器と磁器が共存する稀有な産地であるだけでなく、ノベルティ（置物・装飾品）、ファインセラミックスなどが生産され、今も新しいものづくりが続けられています。

年別	項目	変 遷	面 積 (km ²)	人 口 (人)	世 帯
昭和 4 年		市 制 施 行	28.01	31,276	6,916
昭和26年		水野村合併	50.67	54,779	11,670
昭和30年		幡山村合併	71.36	64,681	13,588
昭和34年		品野町合併	110.34	79,449	16,636
平成30年		4月1日現在	111.40	129,900	55,388



第1編

消防情勢

5年間の市当初予算等と消防費

(単位：千円)

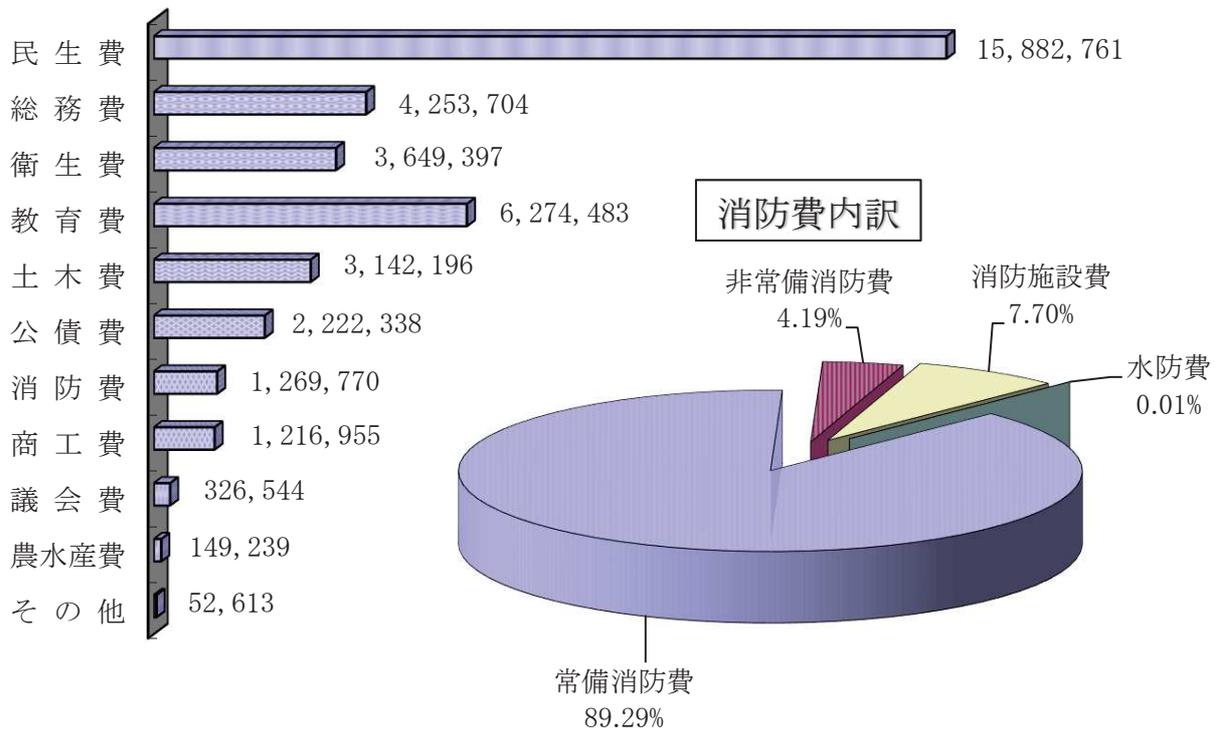
区分 年度	市一般会計	消防費	消防費内訳				一般会計との比率(%)	消防費基準財政需要額	消防費と消防費基準財政需要額との比較(%)
			常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費			
25	33,210,000	1,187,020	1,067,255	44,105	75,570	90	3.6	1,442,297	82.3
26	36,260,000	1,170,033	1,093,955	46,164	29,824	90	3.2	1,482,387	78.9
27	34,920,000	1,299,809	1,096,319	48,477	154,923	90	3.7	1,492,640	87.1
28	33,890,000	1,293,347	1,116,430	51,517	125,310	90	3.8	1,463,486	88.4
29	35,110,000	1,256,267	1,121,685	52,441	82,051	90	3.6	1,458,220	86.1

(予算現額)

平成30年度一般会計当初予算額

(単位：千円)

区分 年度	市一般会計	消防費	消防費内訳				一般会計との比率(%)
			常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	
30	38,440,000	1,269,770	1,118,810	53,142	97,728	90	3.3

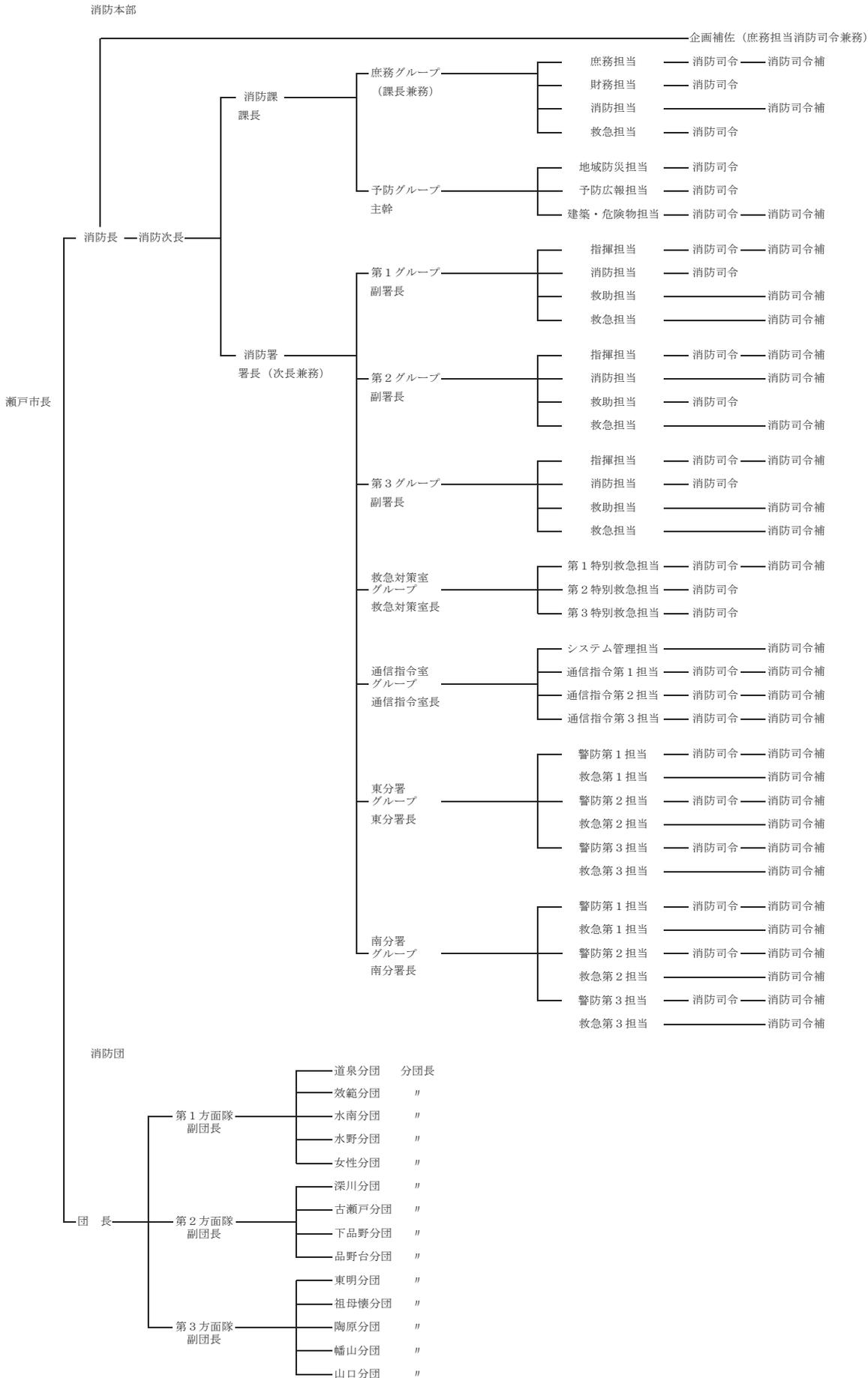


平成30年度消防費の市民負担額

市民1人当たりの額	1世帯当たりの額
9,774円	22,925円

消防本部・消防署・消防団組織図

(平成30年4月1日現在)



消 防 本 部 消 防 課 の 事 務 分 掌

- 1 消防職員の任免その他の人事に関する事。
- 2 消防職員及び消防団員の教養計画に関する事。
- 3 行政組織及び事務の委任配分に関する事。
- 4 予算に関する事。
- 5 規則等の制定又は改廃に関する事。
- 6 文書取扱い及び文書管理の総括に関する事。
- 7 公印取扱いの総括に関する事。
- 8 消防職員の福利厚生に関する事。
- 9 消防関係施設の管理に関する事。
- 10 消防庁舎移転整備に関する事。
- 11 消防団に関する事。
- 12 消防職員委員会に関する事。
- 13 消防部隊の統制に関する事。
- 14 消防相互応援協定に関する事。
- 15 消防水利の計画及び管理に関する事。
- 16 消防計画に関する事。
- 17 消防資機材の管理に関する事。
- 18 儀式及び消防行事に関する事。
- 19 救急業務の高度化に関する事。
- 20 火災予防の指導及び普及に関する事。
- 21 予防救急に関する事。
- 22 火災、救急等の報告に関する事。
- 23 消防統計に関する事。
- 24 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。
- 25 防火対象物の調査及び指導に関する事。
- 26 建築許可等の同意に関する事。
- 27 防火管理の指導に関する事。
- 28 危険物の規制に関する事。
- 29 液化石油ガス等の保安に関する事。
- 30 火薬類の貯蔵及び消費に係る保安に関する事。
- 31 地域防災力の向上に関する事。
- 32 瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会に関する事。
- 33 瀬戸市婦人消防隊連絡協議会に関する事。
- 34 瀬戸市危険物安全協会に関する事。
- 35 瀬戸市自衛消防連絡協議会に関する事。
- 36 瀬戸防火防災協会連合会に関する事。
- 37 自警団に関する事。
- 38 消防課の庶務に関する事。

消 防 署 の 事 務 分 掌

- 1 消防署の業務の管理に関する事。
- 2 防火訓練の指導に関する事。
- 3 消防広報活動に関する事。
- 4 火災及び災害の警戒及び防御に関する事。
- 5 救助活動に関する事。
- 6 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- 7 消防相互応援の実施に関する事。
- 8 消防団の訓練指導に関する事。
- 9 消防水利の整備保全に関する事。
- 10 消防機械器具、防災資機材及び救急資機材の整備保全に関する事。
- 11 救急業務に関する事。
- 12 応急手当の普及に関する事
- 13 火災、救急等の受信及び出動指令の伝達に関する事。
- 14 愛知県広域災害救急医療情報システムの運用に関する事。
- 15 気象情報及び災害情報に関する事。
- 16 火災警報に関する事。
- 17 高度情報通信ネットワークの運用に関する事。
- 18 通信施設の整備保全に関する事。
- 19 その他消防情報に関する事。
- 20 消防署の庶務に関する事。

消防力の整備指針と現有消防力

1 施設

平成30年4月1日現在

	整備指針	現 有 数	充足率 (%)
施 設	3	3	100.0

2 車 両

車 両	整備指針(台) (非常用を除く)	現 有 数(台) (非常用を除く)	充足率 (%)
消 防 ポ ン プ 自 動 車	7	7	100.0
は し ご 自 動 車	2	1	50.0
化 学 消 防 車	1	1	100.0
救 助 工 作 車	1	1	100.0
指 揮 車	1	1	100.0
救 急 車	6	5	83.3
特 殊 車 等	10	10	100.0
合 計	28	26	92.9

3 人 員

	整備指針(人)	現 有 人 員(人)	充足率 (%)
指 揮 隊 員	10	109	64.1
消 防 隊 員	103		
救 急 隊 員	40		
救 助 隊 員	17		
(小 計)	170	109	64.1
通 信 員	8	9	112.5
予 防 要 員 (専従) (兼務)	18	25	18
	7		
庶務の処理等の人員	13	13	100.0
合 計	209	142	67.9

※ 現有人員142人の内、再任用人員12人

消 防 職 員 数

平成30年4月1日現在

階 級 別		合 計	消	消	消	消	消	消	消	事	再	
			防	防	防	防	防	防	務	任		
所 属 別			監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	士	吏 員	用	
合 計		130 (2)	1	10 (1)	22 (1)	31	22	10	31	2	12	
消 防 本 部	消 防 長	1	1									
	消 防 次 長	1		1								
	企 画 補 佐	1			1							
	消 防 課	消 防 課 長	1		1							
		庶 務 担 当	2 (1)			(1)	1		1			
		財 務 担 当	2			1				1		
		消 防 担 当	2				1		1			
		救 急 担 当	2			1		1				
		主 幹	1		1							
		地 域 防 災 担 当	3			1		1			1	
	予 防 課	予 防 広 報 担 当	1								1	1
		建 築 ・ 危 険 物 担 当	4			1	1	1	1			1
		派 遣 職 員 等	1				1					
小 計		22 (1)	1	3	5 (1)	3	3	3	1	2	2	
消 防 署	署 長		(1)	(1)								
	第 1 グループ	副 署 長	1	1								
		指 揮 担 当	2			1	1					
		消 防 担 当	5			1		1	1	2		
		救 助 担 当	4				1	1	1	1		
		救 急 担 当	4				1	2		1		
	第 2 グループ	副 署 長	1		1							
		指 揮 担 当	2			1	1					
		消 防 担 当	4				2	1		1		
		救 助 担 当	4			1		1		2		
	第 3 グループ	副 署 長	1		1							
		指 揮 担 当	2			1	1					
		消 防 担 当	4			1		1		2		
		救 助 担 当	4				1	1	1	1		
	救 急 対 策 室	救 急 対 策 室 長	1		1							
		第 1 特 別 救 急 担 当	3			1	1		1			
		第 2 特 別 救 急 担 当	3			1	1	1				
		第 3 特 別 救 急 担 当	3			1		1	1			
	小 計		56 (1)		4 (1)	9	12	12	6	13		
	通 信 指 令 室	通 信 指 令 室 長	1		1							
		シ ス テ ム 管 理 担 当	1				1					1
		通 信 指 令 第 1 担 当	2			1	1					
		通 信 指 令 第 2 担 当	2			1	1					
通 信 指 令 第 3 担 当		2			1	1						
小 計		8		1	3	4					1	
東 分 署	東 分 署 長	1		1								
	警 防 第 1 担 当	4			1	1		1	1		2	
	救 急 第 1 担 当	3				1	1		1			
	警 防 第 2 担 当	5			1	1	1		2			
	救 急 第 2 担 当	2				1			1		1	
	警 防 第 3 担 当	4				1	1		2		1	
	救 急 第 3 担 当	3				1	1		1			
小 計		22		1	2	6	4	1	8		4	
南 分 署	南 分 署 長	1		1								
	警 防 第 1 担 当	4			1	1			2		2	
	救 急 第 1 担 当	3				1	1		1			
	警 防 第 2 担 当	4			1	1			2		2	
	救 急 第 2 担 当	3				1	1		1			
	警 防 第 3 担 当	4			1	1			2		1	
救 急 第 3 担 当	救 急 第 3 担 当	3				1	1		1			
	小 計	22		1	3	6	3		9		5	

※消防職員合計数には、再任用職員を含まず。

() 内は兼務職員数

消 防 団 員 数

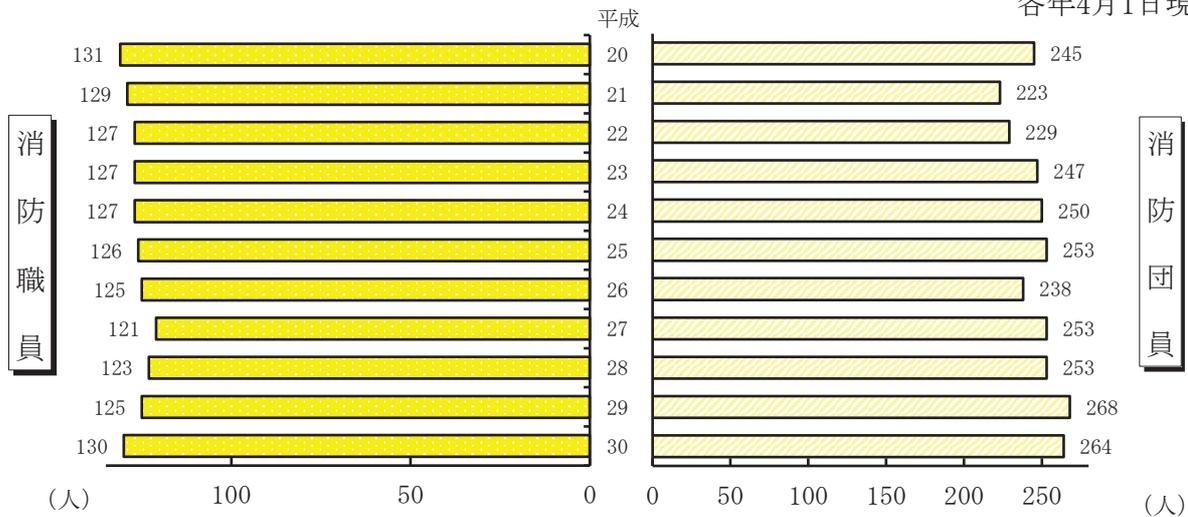
平成30年4月1日現在

階級別 分団別	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
合 計	264	1	3	14	27	26	28	165 ④
団 本 部	4	1	3					
道 泉 分 団	19			1	2	2	2	12 ④
深 川 分 団	18			1	2	2	2	11 ④
古瀬戸分団	20			1	2	2	2	13 ④
東 明 分 団	16			1	2	2	2	9 ④
祖母懐分団	18			1	2	2	2	11 ②
陶 原 分 団	18			1	2	1	2	12 ②
效 範 分 団	18			1	2	2	2	11 ④
水 南 分 団	16			1	2	2	2	9 ④
水 野 分 団	19			1	2	1	2	13 ②
下品野分団	21			1	2	2	2	14 ⑤
品野台分団	18			1	1	2	2	12
幡 山 分 団	15			1	2	2	2	8 ②
山 口 分 団	20			1	2	2	2	13 ③
女 性 分 団	24			1	2	2	2	17

○災害支援団員数（内数）

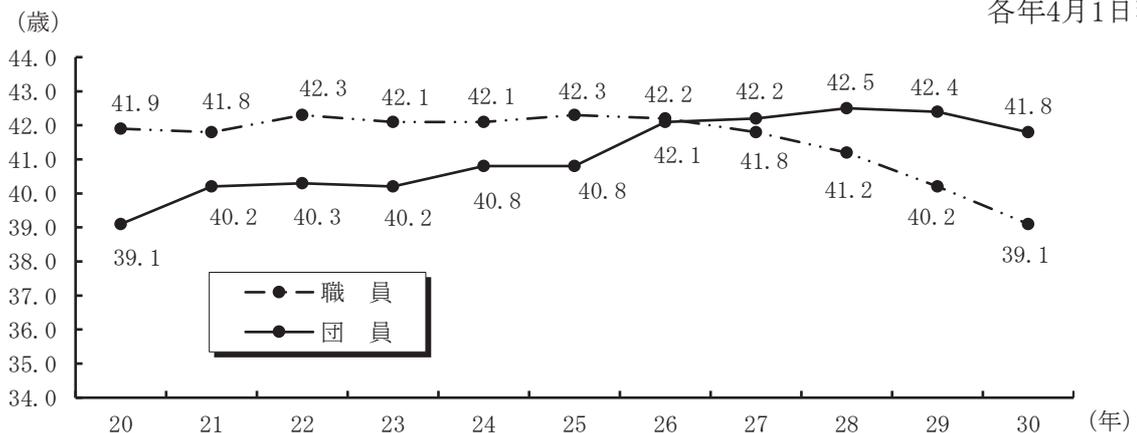
消 防 職 員 ・ 団 員 数 の 推 移

各年4月1日現在



消 防 職 員 ・ 団 員 の 平 均 年 齢 の 推 移

各年4月1日現在



消防職員派遣教養科目別実施状況

【県消防学校等】

科目		年度	合計	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
幹部科	初級		4	1			1			1			1
	中級		3		1			1			1		
	上級		3			1			1			1	
警防科			8		1		1	1	1	1	1	1	1
救助科			10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
救急科	I 課程		0										
	II 課程		0										
標準課程			31	3	2	2	4	2	3	3	4	2	6
はしご自動車等運用科			7	1			1			1	1	1	2
指導員養成科			0										
初任科			38	3	3	1	4	3	3	3	3	7	8
予防科	危険物課程		4			1			1			1	1
	予防課程		0										
	火災調査課程		3				1			1			1
	査察課程		4		1			1			1		1
特殊災害科			2	1		1							
地震防災科			7			1		1	1	1	1	1	1
新任消防長(行政出身)科			1	1									
小隊長科			2	1			1						
指揮隊科			4						1	1	1		1
外傷・災害対応講習			19	1	4	4			2		2	3	3
合計			150	13	13	12	14	10	14	13	16	18	27

【救急救命士養成関係】 ()内は平成30年4月1日現在の救命士数

科目		年度	合計	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
救急救命士養成 救命士合計 (31)			10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
救急救命士気管挿管養成 (12)			10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
救急救命士薬剤投与養成 (24)			22	5	5	3	1	1	1	1	1	1	3
合計			42	7	7	5	3	3	3	3	3	3	5

【消防大学校】

科目		年度	合計	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
上級幹部科			1					1					
幹部科(旧幹部研修科)			1	1									
警防科			1		1								
予防科			1				1						
救助科			4					1		1	1		
危険物科			1										1
火災調査科			2			1			1				
講習会等			8		1	1	1		1	1	1	1	1
新任消防長科			1	1									
新任教官科			1								1		
合計			21	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2

消防職員研修実施状況

内容		年度	合計	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
市職員研修	回数		200	20	17	10	12	18	18	29	29	30	17
	人数		576	74	42	19	32	44	34	98	95	87	51
警防関係	回数		58	7	9	15	8	5	2	2	3	2	5
	人数		643	41	209	315	25	8	7	4	4	4	26
救急・救助関係	回数		226	17	16	30	12	13	18	53	24	23	20
	人数		2,197	109	121	131	33	235	275	323	311	325	334
予防関係	回数		114	15	14	8	11	16	13	9	9	9	10
	人数		166	19	17	13	12	25	27	13	12	13	15
通信関係	回数		17	2	2	3	0	1	1	3	2	1	2
	人数		58	3	2	3	0	13	2	13	5	12	5
その他	回数		63	9	12	4	4	2	0	6	11	6	9
	人数		96	14	21	5	4	3	0	9	21	7	12
合計	回数		678	70	70	70	47	55	52	102	78	71	63
	人数		3,736	260	412	486	106	328	345	460	448	448	443

消防職員・団員公務災害等発生状況

内容		年度	計	小計	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
消防活動中	職員		5	5	1		2		1					1
	団員		0	0										
救急活動中	職員		4	4				1	2	1				
	団員		0	0										
調査活動中	職員		0	0										
	団員		0	0										
訓練中	職員		14	3		1							1	1
	団員		11	11	1	1		1	2	4		1		1
作業中	職員		5	3		1	2							
	団員		2	2		1				1				
その他	職員		7	2				2						
	団員		5	5	1					2		2		
通勤災害	職員		1	1	1									
	団員		0	0										
合計	職員		18	18	2	2	4	3	3	1	0	0	1	2
	団員		18	18	2	1	1	1	2	6	1	3	0	1
	計		36	36	4	3	5	4	5	7	1	3	1	3

消防本部車両運用状況

平成29年中

区別 車両別	火災出動		放水		救急出動		救助出動		警戒出動		風水害出動		訓練出動		警防調査		火災調査		検査・査察		広報活動		一般事務		その他の出動		走行距離 km
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	
合計	200	633	35	0	6,245	21,745	175	578	241	780	5	20	209	576	337	1,011	29	84	630	1,424	794	2,062	2,347	3,719	1,087	2,311	143,864
ポンプ 1号車	3	10	0	0	425	1,343	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	2	3	4	18	2,088
タンク 2号車	21	75	7	29	100	100	10	34	49	164	0	0	9	33	3	10	1	3	0	0	0	0	6	23	5	15	1,314
化学 3号車	0	0	0	1	4	4	1	3	20	69	0	0	8	22	2	6	0	0	1	3	0	0	2	4	17	34	823
タンク 5号車	21	77	8	42	139	167	17	58	49	167	1	3	23	74	113	355	6	18	26	80	115	356	28	85	89	280	5,225
タンク 6号車	24	94	9	47	154	168	19	69	46	168	3	12	7	24	49	163	1	3	31	98	107	337	77	241	71	235	5,681
ポンプ 8号車	18	57	2	174	548	0	0	2	6	0	0	0	2	8	39	133	0	0	23	71	6	19	5	15	19	64	3,115
ポンプ 9号車	14	44	3	241	764	1	3	1	4	1	4	1	5	0	6	19	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1,654
ポンプ 10号車	20	65	4	25	76	3	9	0	0	0	0	0	17	57	74	228	4	13	45	142	2	8	27	82	120	381	2,606
空活 31号車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	329
梯子 32号車	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	26	365
救助 43号車	0	0	0	0	0	0	59	209	0	0	0	0	3	14	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	1	4	686
指揮 51号車	38	116	0	15	45	181	60	181	59	175	0	0	28	86	11	33	1	3	1	3	357	1,070	149	447	74	225	11,009
指令 52号車	1	5	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	10	31	0	0	0	0	141	288	15	62	229	375	45	86	6,437
広報 61号車	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4	7	1	2	1	1	204	419	11	17	237	317	68	97	6,452
広報 62号車	5	5	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	22	41	3	8	0	0	6	12	29	37	341	380	56	84	6,107
広報 64号車	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	14	44	0	0	6	17	76	158	5	5	319	468	89	142	6,407
輸送 71号車	0	0	0	0	0	0	1	3	1	2	0	0	4	10	0	0	0	0	1	2	0	0	21	41	20	40	1,318
積載 72号車	1	1	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	14	23	0	0	0	0	11	22	2	2	65	70	78	84	2,256
連絡 73号車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	1	2	0	0	0	241	440	20	49	6,434	
査察 74号車	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	6	7	0	0	2	3	58	113	7	7	227	321	100	151	4,919
輸送 75号車	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7	4	6	2	4	2	4	3	3	97	113	99	109	3,651
査察 76号車	12	15	0	0	0	0	2	2	3	4	0	0	16	47	30	43	4	17	3	6	135	139	269	278	83	143	14,435
水槽 77号車	6	18	2	0	0	0	0	0	2	6	0	0	3	8	1	3	0	0	0	0	0	0	2	5	10	24	412
救急 1号車	14	45	0	1,745	5,875	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	13,384
救急 2号車	0	0	0	1,274	4,664	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,260
救急 3号車	0	0	0	920	3,325	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	8	13,830
救急 5号車	0	0	0	1,307	4,708	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	13,667

消 防 団 活 動 状 況

平成29年中

区 分 分 団 別	合計		火災出動			水防活動 及び 警戒活動		訓練出動		広報出動		その他		走行 距離 Km
			回数	人員	回数	人員	放水 回数	回数	人員	回数	人員	回数	人員	
合 計	1,424	8,720	95	596	3	94	767	773	4,553	232	1,912	233	895	7,966
うち支援団員	(55)	(117)	(30)	(70)		(5)	(15)	(2)	(2)	(1)	(1)			
消防団本部	186	375	17	44		6	20	115	185			48	126	
うち女性消防団員														
道泉分団	114	588	6	32		5	39	80	381	15	109	8	27	389
うち支援団員	(3)	(6)	(3)	(6)										
深川分団	101	587	5	35		5	48	36	225	18	146	37	133	328
うち支援団員	(1)	(1)	(1)	(1)										
古瀬戸分団	112	492	6	33	1	8	63	67	209	22	147	9	40	789
うち支援団員	(8)	(13)	(6)	(9)		(1)	(3)	(1)	(1)					
東明分団	94	446	5	31		6	35	46	225	21	111	16	44	799
うち支援団員	(7)	(14)	(5)	(12)		(1)	(1)	(1)	(1)					
祖母懐分団	108	910	8	48		8	57	46	393	20	279	26	133	593
うち支援団員	(9)	(15)	(8)	(14)								(1)	(1)	
陶原分団	96	687	10	89		10	111	43	264	18	166	15	57	484
うち支援団員			5									(1)	(1)	
效範分団	120	805	8	44		8	60	64	463	22	176	18	62	843
うち支援団員	(5)	(12)	(4)	(9)		(1)	(3)							
水南分団	91	472	9	28		8	51	31	185	23	150	20	58	678
うち支援団員	(4)	(8)	(4)	(8)										
水野分団	100	832	9	106	1	10	84	53	434	16	127	12	81	964
うち支援団員	(5)	(10)	(5)	(10)										
下品野分団	79	683	7	68	1	6	71	39	315	19	171	8	58	762
うち支援団員	(10)	(34)	(7)	(25)		(2)	(8)			(1)	(1)			
品野台分団	75	684	1	11		6	63	37	362	19	179	12	69	324
うち支援団員														
幡山分団	148	1159	4	27		8	65	116	912	18	150	2	5	1013
うち支援団員	(3)	(4)	(3)	(4)										
山口分団	159	1460	6	39	1			127	1193	21	177	5	51	1818
うち支援団員	(1)	(1)	(1)	(1)										
女性分団	228	853						197	690	4	34	27	129	
うち支援団員														

うち女性消防団員内は、訓練出動は救命講習及びその他は暮らしのあんしん訪問の回数・人員のみを計上。

ガンバレ消防団応援事業所

ガンバレ消防団応援事業所とは、市内の事業所や販売店の皆様が、応援事業所として消防団員に各種サービスや割引等の提供を行ったり、消防団員募集ポスターを事業所内に掲出するなど、様々な形で消防団を応援していただく事業所のことで、地域の方々に「消防団」をアピールし、消防団の認知度を高めつつ、事業所の皆様には、社会貢献のイメージアップと顧客としての消防団員の集客率を高める効果が期待できます。

平成22年10月1日運用開始

平成30年5月末現在 登録事業所数：278箇所（公共施設92箇所含む）

第2編

消防施設

消 防 庁 舎 等 設 置 状 況

平成30年4月1日現在

区分	名 称	建 築 年 月 日	構 造	延 床 面 積 (敷地面積)	所 在 地
消 防 庁 舎	消 防 本 部 消 防 署	S 47. 7. 31 (増築S62.2.28)	R・C造3階建 一 部 5 階 建	1,622.52m ² (3241.84m ²)	苗場町101
	消 防 署 東 分 署	H 1. 10. 14	R・C造2階建 一 部 地 下 1 階	934.81m ² (2698.04m ²)	品野町1-190-1
	〃 訓 練 塔	H 1. 10. 14	S 造 4 階 建	135.36m ²	品野町1-190-1
	消 防 署 南 分 署	H 3. 3. 1	R・C造2階建	590.98m ² (2331.99m ²)	南山口町143
消 防 分 団 詰 所	道 泉 分 団	H 27. 3. 29	R・C造2階建	177.34m ² (347.85m ²)	西谷町6
	深 川 分 団	H 29. 3. 7	R・C造2階建	150.50m ² (276.39m ²)	宮脇町2-5
	古 瀬 戸 分 団	S 55. 3. 31	R・C造2階建	75.47m ² (280.98m ²)	西古瀬戸町8-3
	東 明 分 団	H 4. 3. 22	R・C造2階建	145.00m ² (741.89m ²)	西窯町94
	祖 母 懐 分 団	H 15. 2. 28	R・C造2階建	152.50m ² 祖母懐公民館併設	上ノ切町43
	陶 原 分 団	S 60. 9. 30	R・C造2階建	99.32m ² (244.48m ²)	陶原町2-44-1
	效 範 分 団	H 18. 3. 1	R・C造2階建	128.70m ² (245.33m ²)	汗干町81-20
	水 南 分 団	S 60. 3. 30	R・C造2階建	98.53m ² (453.65m ²)	北松山町1-63-2
	水 野 分 団	S 53. 12. 15	R・C造2階建	88.41m ² (539.43m ²)	中水野町1-155
	下 品 野 分 団	H 9. 3. 5	S・R・C造2階建	152.50m ² (401.00m ²)	品野町6-108-1
	品 野 台 分 団	S 63. 3. 27	R・C造2階建	108.50m ² (322.52m ²)	上品野町335-3
	幡 山 分 団	S 56. 3. 31	R・C造2階建	73.31m ² 幡山公民館併設	幡山町71
山 口 分 団	H 28. 3. 7	R・C造2階建	222.50m ² (600.62m ²)	大坪町113-2	
水 防 倉 庫 等	消 防 署 水 防 倉 庫	消 防 署 併 設		19.70m ²	苗場町101
	消 防 署 倉 庫	H 7. 3. 8	コ ン テ ナ 式	14.30m ²	苗場町101
	防 災 資 機 材 地 域 備 蓄 倉 庫	H 7. 10. 6	S 造 平 屋 建	165.60m ²	苗場町101
	東 分 署 水 防 倉 庫	東 分 署 併 設		13.00m ²	品野町1-190-1
	南 分 署 倉 庫	S 62. 11. 20	コ ン テ ナ 式	13.70m ²	南山口町143
	東 明 水 防 倉 庫	東 明 分 団 詰 所 併 設		27.00m ²	西窯町94
	陶 原 水 防 倉 庫	瀬 戸 蔵 併 設		22.44m ²	蔵所町1-1
	效 範 水 防 倉 庫	效 範 分 団 詰 所 併 設		22.50m ²	汗干町81-3
	水 野 水 防 倉 庫	水 野 分 団 詰 所 併 設		17.01m ²	中水野町1-155
	品 野 水 防 倉 庫	S 61. 7. 31	コ ン テ ナ 式	13.70m ²	品野町6-108-1
	幡 山 水 防 倉 庫	S 58. 1. 10	C・B造平屋建	39.32m ²	幡山町71
	上 半 田 川 倉 庫	S 63. 2. 22	コ ン テ ナ 式	13.70m ²	上半田川町345
	片 草 倉 庫	H 1. 1. 16	コ ン テ ナ 式	14.64m ²	片草町226-5
下 半 田 川 倉 庫	H 1. 9. 29	コ ン テ ナ 式	14.30m ²	下半田川町843-1	
道 泉 倉 庫	H 27. 3. 29	コ ン テ ナ 式	8.94m ²	西谷町6	
器 具 庫	水 南 器 具 庫	水 南 分 団 詰 所 併 設		16.80m ²	北松山町1-63-2
	陶 原 器 具 庫	陶 原 分 団 詰 所 併 設		12.60m ²	陶原町2-44-1

消 防 車 両 等 配 備 状 況

平成30年4月1日現在

配備	名 称	種 別	登録年月	経年	総排気量	規格	摘 要
消 防 署	ポンプ 1 号	ポンプ車	平23年12月	6	4.56 L	CD-I	電動ホースカー付
	タンク 2 号	タンク車	平21年 3月	9	6.40 L	水II型	水 2,000 L
	化学 3 号	化学車	平 6年12月	23	7.41 L	化学II型	水 1,300 L 薬液 500 L
	ポンプ 10号	ポンプ車	平 9年 3月	21	7.96 L	CD-II	救助資器材積載
	梯子 32号	梯子車	平 9年12月	20	20.78L	30M級	
	救助 43号	救助工作車	平18年11月	11	6.40 L	II型	電源照明付 ウインチ付
	指揮 51号	指揮車	平28年 2月	2	2.26 L		
	指揮 52号	査察車	平17年 2月	13	2.36 L		
	広報 61号	広報車	平27年 2月	3	1.49 L		
	広報 64号	広報車	平14年10月	15	1.99 L		
	輸送 71号	輸送車	平18年 8月	11	4.89 L		
	連絡 73号	連絡車	平15年 1月	15	1.76 L		
	査察 74号	査察車	平13年 2月	17	1.76 L		
	救急 1 号	救急車	平22年 8月	7	3.49 L	高規格	
	救急 2 号	救急車	平25年 3月	5	2.69 L	高規格	
	救急 6 号	救急車	平30年 3月	0	2.69 L	高規格	
	動 - 2	可搬動力ポンプ	平17年10月	12	175 cc	C-1	
	動 - 6	可搬動力ポンプ	平19年 9月	10	175 cc	C-1	
動 - 9	可搬動力ポンプ	平 3年 9月	26	175 cc	C-1		
動 - 15	可搬動力ポンプ	平24年 1月	6	635 cc	B-3		
東 分 署	タンク 6 号	タンク車	平24年 2月	6	6.40 L	水II型	水2,000 L (CAFS)
	ポンプ 8 号	ポンプ車	平29年 4月	1	4.00 L	CD-I	電動ホースカー付
	輸送 75号	輸送車	平20年10月	9	2.95 L		
	査察 76号	査察車	平21年 8月	8	1.99 L		
	水槽 77号	水槽車	平15年10月	14	10.52 L	付水II	水 10,000 L
	救急 3 号	救急車	平28年 3月	2	3.37 L	高規格	
	動 - 14	可搬動力ポンプ	平 7年 3月	23	198 cc	C-1	
動 - 19	可搬動力ポンプ	平30年 3月	0	209 cc	C-1	4ST	
南 分 署	タンク 5 号	タンク車	平23年 2月	7	6.40 L	水II型	水2,000 L (CAFS)
	ポンプ 9 号	ポンプ車	平12年10月	17	4.57 L	CD-I	電動ホースカー付
	空活 31号	空中活動車	平26年 3月	4	4.00 L	15M級	
	広報 62号	広報車	平20年 8月	9	0.65 L		
	輸送 72号	輸送車	平30年 3月	0	2.98 L		
	救急 5 号	救急車	平24年 3月	6	3.49 L	高規格	
	動 - 4	可搬動力ポンプ	平13年12月	16	635 cc	B-3	積載72号
動 - 16	可搬動力ポンプ	平24年 1月	6	200 cc	C-1		

配備	名 称	種 別	登録年月	経年	総排気量	規格	摘 要
消 防 団 等	道 泉 分 団	ポ ン プ 車	平 1 0 年 1 2 月	19	4.56 L	CD-I	絡車付 定員8名
	動 ー 3	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 8 年 7 月	1	175 cc	C-1	
	深 川 分 団	ポ ン プ 車	平 1 1 年 1 1 月	18	5.24 L	CD-I	絡車付 定員8名
	動 ー 8	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 4 年 1 月	6	200 cc	C-1	
	古 瀬 戸 分 団	ポ ン プ 車	平 1 2 年 1 0 月	17	5.24 L	CD-I	絡車付 定員8名
	動 ー 1 7	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 6 年 1 月	4	200 cc	C-1	
	東 明 分 団	ポ ン プ 車	平 1 7 年 1 月	13	4.00 L	CD-I	絡車付 定員8名
	搬 送 3 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 2 年 7 月	7	0.65 L		
	動 ー 1 0	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 5 年 9 月	24	175 cc	C-1	
	祖 母 懐 分 団	ポ ン プ 車	平 3 0 年 1 月	0	4.00 L	CD-I	絡車付 定員8名
	動 ー 2 1	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 7 年 9 月	2	200cc	C-1	
	陶 原 分 団	ポ ン プ 車	平 2 8 年 1 2 月	1	4.00 L	CD-I	絡車付 定員6名
	動 ー 1 8	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 6 年 1 月	4	200 cc	C-1	
	效 範 分 団	ポ ン プ 車	平 1 3 年 1 1 月	16	5.24 L	CD-I	絡車付 定員8名
	動 ー 2 0	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 6 年 1 0 月	3	198 cc	C-1	
	水 南 分 団	ポ ン プ 車	平 1 8 年 2 月	12	4.00 L	CD-I	絡車付 定員8名
	動 ー 2 2	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 7 年 9 月	2	200 cc	C-1	
	水 野 分 団	ポ ン プ 車	平 2 2 年 2 月	8	4.00 L	CD-I	絡車付 定員8名
	搬 送 1 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 0 年 1 1 月	9	0.65 L		
	動 ー 1 1	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 6 年 1 0 月	3	198 cc	C-1	
	下 品 野 分 団	ポ ン プ 車	平 1 9 年 1 2 月	10	4.00 L	CD-I	絡車付 定員8名
	搬 送 4 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 4 年 2 月	6	0.65 L		
	動 ー 1 2	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 2 年 1 1 月	17	175 cc	C-1	
	品 野 台 分 団	ポ ン プ 車	平 1 5 年 2 月	15	4.77 L	CD-I	絡車付 定員8名 4WD
	搬 送 5 号	資 機 材 搬 送 車	平 1 3 年 2 月	17	0.65 L		
	動 ー 1 3	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 4 年 1 月	6	200 cc	C-1	
	幡 山 分 団	ポ ン プ 車	平 2 3 年 1 月	7	4.00 L	CD-I	絡車付 定員8名
	搬 送 2 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 1 年 1 0 月	8	0.65 L		
	動 ー 1	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 0 年 6 月	19	198 cc	C-1	
	山 口 分 団	ポ ン プ 車	平 2 8 年 3 月	2	4.00 L	CD-I	絡車付 定員8名
	搬 送 6 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 8 年 2 月	2	0.65 L		
	動 ー 2 3	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 8 年 4 月	2	526cc	B-3	
	上半田川町自警団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 1 年 1 1 月	18	635 cc	B-3	
下半田川町自警団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 3 年 1 月	17	635 cc	B-3		
定光寺町自警団	資 機 材 搬 送 車	平 1 5 年 1 0 月	14	0.65 L			
定光寺町自警団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 1 年 1 1 月	18	635 cc	B-3		
片草町自警団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 5 年 2 月	5	635 cc	B-3		
白岩町自警団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 0 年 2 月	20	635 cc	B-3		

※絡車=ホースカー

主 な 消 防 機 器 保 有 状 況

平成30年4月1日現在

分類	用途	品 名	総数	分類	用途	品 名	総数
消 火 活 動 資 機 材	放 水 器 具	ホース 65ミリ	277	救 助 用 資 機 材	切 断 用 器 具 器 破 具 壊 測 定 用 器 具 呼 吸 保 護 器 具 隊 員 保 護 器 具 器 具 索 用 器 具 山 岳 救 助 器 具 そ の 他 の 救 助 器 具	油圧切断機	2
		〃 50ミリ	207			エンジンカッター	5
		〃 40ミリ	99			アーク溶断器	1
	水幕ホース	5	チェーンソー (予備2含む)			4	
	水幕金具(予備3含む)	12	エアーツール			4	
	ホースブリッジ	43	万能斧			29	
	フォグガン	21	さく岩機 (予備1含む)			2	
	無反動管そう	2	電気ハンマードリル			3	
	東消式高発泡器	3	有毒ガス検知器			3	
	可搬消防ポンプ	9	放射線測定器			6	
救 急 用 資 機 材	救 急 活 動 器 具	自動体外式除細動器 (AED)	8	放射線個人線量計	24		
		患者監視装置	5	空気呼吸器	48		
		携帯用酸素蘇生器	7	空気ボンベ	131		
		医療用ボンベ	44	酸素呼吸器	4		
		保育器	0	酸素ボンベ	12		
	衛 生 用 器 具	救急車室内殺菌装置	1	送排風機	2		
		救急資材滅菌器	1	耐電衣一式 (上衣・ズボン・長靴)	2		
		救急白衣殺菌ロッカー	4	耐電手袋	8		
		自動手指消毒器	1	耐熱服	2		
		うがい器	4	熱画像直視装置	2		
訓 練 人 形	高度処置シミュレーター	4	簡易画像探索器	1			
	静脈採血注射モデル	2	救命胴衣	10			
	気道管理トレーナー	3	救命浮輪 (予備1含む)	2			
	応急手当普及用人形	35	救命ボート	1			
	AEDトレーナー	17	折りたたみ担架 (バスケットストレッチャー)	5			
	チョーキングマネキン	2	山岳用担架	1			
	かぎ付はしご	6	緩降機	3			
救 助 用 器 具	3連はしご	6	ロープ登はん機	0			
	金属製折りたたみはしご	1	投光器 (手持ち35、照明のみ9)	73			
	空気式救助マット	1	発電機 (車載8、予備7)	19			
	救命索発射銃	1	携帯マイク	25			
	救助用ばく帯・サハ [®] イパ [®] スリング [®]	13	携帯無線 (デ20、署41、可5)	66			
	集団災害用非常持出担架	38	陽圧式化学防護服	5			
	救助用ロープ12ミリ (200m箱入)	17	有毒ガス検知管一式	1			
	カラビナ	294	除染シャワー	1			
	滑車	19	除染剤散布器	2			
	重 量 物 排 除 器 具	油圧ジャッキ	16	対 応 資 機 材 そ の 他 の 資 機 材	エアータント (集団災害)	1	
油圧スプレッター		2	簡易防毒衣		5		
可搬ウインチ		4	オイルフェンス		2		
ワイヤーロープ		11	油処理剤 (シーグリーン15kg入)		17		
マット型空気ジャッキ一式		2	油処理剤 (アルファゲル 9kg入)		25		
チェーンブロック (積載外)		0	泡消火薬剤 (180缶)		30		
マンホール救助器具		0					

水防用資機材備蓄状況

平成30年4月1日現在

水防倉庫名		合計											水南
所在地	面積 (㎡)	本署	東分署	南分署	陶原	団訓練場	水野	幡山	品野	東明	効果	水南	
対象河川		苗場町	品野町	南山口町	蔵所町	熊野町	中水野町	幡山町	品野町	西築町	汗干町	北松山町	
		19.7	13.0	13.7	16.5	1.6	17.0	39.3	13.7	17.5	17.0	16.8	
		瀬戸川	瀬戸川	矢田川	瀬戸川	瀬戸川	水野川	矢田川	水野川	赤津川	瀬戸川	瀬戸川	
木く	い(本)	134	80	60	200	0	220	750	550	200	178	50	
ビニール袋(袋)		1,400	750	1,000	2,000	1,000	3,000	5,000	2,850	3,000	3,000	2,000	
麻袋(袋)		400	0	16	0	0	0	120	0	0	0	800	
かます(枚)		0	0	0	190	0	100	220	40	100	50	50	
なわ(玉)		8	5	6	0	0	5	21	5	10	6	80	
矢板(枚)		23	0	0	0	0	100	0	200	100	0	300	
8番線(kg)		50	50	50	100	0	0	400	50	200	0	600	
鉄く	い(本)	120	125	70	58	50	0	70	60	140	0	320	
ノーツ番線(箱)		8	5	5	1	0	0	4	1	1	1	16	
のこぎり(丁)		27	14	12	26	0	0	10	10	20	0	0	
なたのこセット(丁)		16	7	12	0	0	0	0	0	0	0	0	
なた(丁)		31	4	0	14	0	0	10	0	0	0	0	
ハンマー(丁)		30	5	4	4	2	5	0	5	5	5	5	
掛矢(丁)		17	5	9	20	3	0	10	0	1	0	21	
たこづち(丁)		5	6	0	1	0	0	0	0	0	0	4	
シヤベル(丁)		145	22	29	65	20	9	12	0	0	0	60	
つるはし(丁)		30	6	1	6	0	1	11	0	2	0	0	
かま(丁)		70	15	22	4	0	5	5	0	4	5	5	
クリツパー(丁)		22	6	9	5	0	0	0	0	3	0	0	
しの(丁)		25	10	9	10	0	0	0	0	0	0	0	
バッチくわ(丁)		6	0	1	8	0	0	0	0	1	0	0	
防水シート(枚)		45	44	46	0	0	16	10	10	10	10	10	
一輪車(台)		6	2	2	0	2	0	1	0	0	0	0	
水防T型マット		6	3	2	0	0	0	0	0	0	0	26	

消 防 水 利 設 置 状 況

平成30年 4月 1日現在

連 区 別	合 計	防火水槽・貯水槽（公設）				防 火 水 槽 （私設）				消火栓		その他の水利		
		100m ³ 以 上	60～100 m ³ 未 満	40～60 m ³ 未 満	40m ³ 未 満	100m ³ 以 上	60～100 m ³ 未 満	40～60 m ³ 未 満	40m ³ 未 満	基準 適合	基準 以外	池	プ ール	そ の 他
道泉	117 (8)			9 (5)	1			3 (3)		76	27		1	
深川	83 (3)			6 (3)	4			1		64	7		1	
古瀬戸	103 (2)			11 (2)	4			1		57	29		1	
東明	128 (10)			13 (8)	2			1 (1)	1 (1)	72	33	1	1	4
祖母懐	130 (6) ● 1	2 (2) ● 1		12 (4)	4				1	81	28		2	
陶原	180 (11)			16 (5)	4			7 (6)		117	35		1	
長根	252 (13)			14 (8)	1			11 (5)		151	73	1	1	
效範	351 (29) ● 1	2 (2) ● 1		37 (17)				13 (10)		211	84		4	
水南	175 (14)			22 (8)	1	1		14 (6)		80	55		1	1
水野	439 (24)			29 (16)	11	1	8 (2)	18 (6)	12	231	121	4	3	1
下品野	203 (12)	2 (1)		19 (11)	6			2	1	108	64		1	
品野	178 (11)			13 (9)	6	1	1	3 (2)	4	85	58	2	4	1
幡山	503 (27)			27 (16)	6		3 (1)	17 (8)	5 (2)	309	127	1	5	3
山口	259 (10)			14 (7)	6			9 (3)	2	149	76	2	1	
西陵	163 (9)			15 (6)				2 (2)	1 (1)	133	10		2	
原山台	49 (3)			4 (2)				1 (1)		42	1		1	
萩山台	79 (1)			3 (1)						52	22		2	
八幡台	102 (2)			4 (2)						82	15		1	
合 計	3,494 (195) ● 2	6 (5) ● 2		268 (130)	56	3	12 (3)	103 (53)	27 (4)	2,100	865	11	33	10
	● 2	330	(135)	● 2		145	(60)			2,965				

() 内は耐震性を有する防火水槽又は耐震性貯水槽を示す。●は飲料水兼用を示す。

指 標	単 位	初期値	目標値	実績値
消防水利の充足率	%	98.6	98.7	98.6

※充足率とは、市街地等をメッシュ区画し、区画内に適合水利が設置されている割合をいう。

第3編

予 防

連 区 別 防 火 対 象 物 状 況

平成30年4月1日現在

項 別	連 区 別	合 計	道	深	古	東	祖	陶	長	效	水	水	西	原	萩	八	品	下	山	本	菱	新
			泉	川	瀬	明	母	原	根	範	南	野	陵	山	台	山	幡	野	野	口	地	野
	合 計	4,617	183	119	125	169	147	343	466	475	225	462	52	73	40	30	233	284	351	434	234	172
1	イ 劇場・映画館	4										3										1
	ロ 公会堂・集会場	56	1		3	1	4	3	7	7	2	2	2	2	1	1	7	3	5	1	1	3
2	イ キャバレー等	0																				
	ロ 遊 技 場	8						1	1	1	1									2		2
	ハ ニ 性風俗 関連店舗 カラオケ等 個室	0 2							2													
3	イ 料理店等	0																				
	ロ 飲 食 店	62	1		1			4	16	4	7	3					2	1	7	8	1	7
4	百貨店・マーケット	157	2	3	4	1	1	16	29	16	10	9	4	2			1	7	9	26	2	15
5	イ 旅館・ホテル	18		1						2	2	3					2			8		
	ロ 共同住宅 ・寄宿舎	918	20	6	19	7	14	51	112	135	60	24	10	44	27	22	19	33	140	43	93	39
6	イ 病院・診療所	60	1	3			1	4	4	14	9	2		2		1	4	2	5	3	1	4
	ロ 福祉施設等 入所施設等	55		2	5	1		6	8	5	2	8			1		4	2	4	3	3	1
	ハ 福祉施設等 保育所等	93	4	4	1		1	9	12	11	7	7	7	2	3	2	5	2	8	4	2	2
	ニ 幼 稚 園	12			1				1		2		4	2	1	1						
7	学校・各種学校	177	9	1	6	2	7	25	7	13	9	12	11	2	3	2	32	2	13	1	13	7
8	図書館・美術館等	17		1			2	1			3	1							8		1	
9	イ 特殊浴場	0																				
	ロ イ以外の 公衆浴場	2						2														
10	停 車 場	3	1								1											1
11	神 社 ・ 教 会	72	5	5	5	3	4	3	12	6	3	4	1				4	2	7	3	4	1
12	イ 工場・作業所	1,325	75	42	50	103	73	80	87	70	33	228	2				85	118	42	167	43	27
	ロ テレ ビスタジオ等	0																				
13	イ 自動車車庫	61	1	1	3	3		7	8	5	10	7					3	1	2	3	2	5
	ロ 飛行機 の格納庫	0																				
14	倉 庫	460	21	10	10	25	9	25	50	34	11	60	1				23	42	31	76	21	11
15	事 務 所 等	426	8	5	5	18	8	35	42	37	12	61	2	2	1		28	52	29	50	22	9
16	イ 複合用途 (特定)	350	25	22	4	1	11	36	38	66	28	16	5	13	3		6	7	20	18	9	22
	ロ 複合用途 (非特定)	275	8	11	8	4	12	35	30	49	13	12	3	2		1	7	10	21	18	15	16
16の2	地 下 街	0																				
16の3	準 地 下 街	0																				
17	重 要 文 化 財	1															1					
18	ア ー ケ ード	3	1	2																		
19	指 定 山 林	0																				
20	指 定 舟 車	0																				

中高層建築物・地階用途別状況

平成30年4月1日現在

項別	階別	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	地階
	合計	649	149	123	37	22	24	13	12	15	5	4	6	6	155
1	イ 劇場・映画館														
	ロ 公会堂・集会場	2	3												1
2	イ キャバレー等														
	ロ 遊技場	1													
	ハ 性風俗関連店舗 ニ カラオケ等個室														
3	イ 料理店等														
	ロ 飲食店	1													
4	百貨店・マーケット	9	4												7
5	イ 旅館・ホテル	3	1	1			1								2
	ロ 共同住宅・寄宿舎	149	60	101	21	17	17	11	11	11	5	4	6	6	20
6	イ 病院・診療所	9	4	2	2		2		1						4
	ロ 福祉施設等	6	3												
	ハ 福祉施設等	4	1			1		1							4
	ニ 幼稚園	3													2
7	学校・各種学校	51	16	2	1										14
8	図書館・美術館等	3													4
9	イ 特殊浴場														
	ロ イ以外の公衆浴場	1													
10	停車場														
11	神社・教会	5													4
12	イ 工場・作業所	82	10	2	2										17
	ロ テレビスタジオ等														
13	イ 自動車車庫	3	1	2											6
	ロ 飛行機等の格納庫														
14	倉庫	41	7	1											11
15	事務所等	60	10	3	2	1									27
16	イ 複合用途(特定)	110	20	5	6	2	4	1		1					21
	ロ 複合用途(非特定)	106	9	4	3	1				3					11
16の2	地下街														
16の3	準地下街														
17	重要文化財														
18	アーケード														
19	指定山林														
20	指定船車														

査察実施率の推移

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
瀬戸市	11.9	12.5	16.4	20.6	20.6
愛知県	21.3	20.5	20.0	18.7	
全国	22.3	21.5	21.2	21.6	

※ 平成29年度の全国及び愛知県の査察実施率は、平成29年5月末現在日未発表

防 火 管 理 者 選 任 状 況

平成30年4月1日

項別	区 分		防火管理者の選任が必要な防火対象物数	防火管理者の選任届が提出されている防火対象物数	届出率%
	合 計		914	789	86
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館	4	4	100
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	101	62	61
2	イ	キ ャ バ レ ー 等	—	—	—
	ロ	遊 技 場	9	9	100
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗	—	—	—
	ニ	個 室 を 有 す る 店 舗	2	2	100
3	イ	料 理 店 等	—	—	—
	ロ	飲 食 店	60	53	88
4	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト		114	103	90
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	10	10	100
	ロ	共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎	118	110	93
6	イ	病 院 ・ 診 療 所	16	16	100
	ロ	福 祉 施 設 ・ 更 正 施 設	54	51	94
	ハ	福 祉 施 設 ・ 更 正 施 設	51	49	96
	ニ	幼 稚 園	8	8	100
7	学 校 ・ 各 種 学 校		49	48	98
8	図 書 館 ・ 美 術 館 等		7	7	100
9	イ	特 殊 浴 場	—	—	—
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場	2	1	50
10	停 車 場		—	—	—
11	神 社 ・ 教 会		29	22	76
12	イ	工 場 ・ 作 業 所	56	54	96
	ロ	テ レ ビ ス タ ジ オ 等	—	—	—
13	イ	自 動 車 車 庫	—	—	—
	ロ	飛 行 機 等 の 格 納 庫	—	—	—
14	倉 庫		9	8	89
15	事 務 所 等		62	59	95
16	イ	複 合 用 途 (特 定)	130 (15)	97 (1)	75 (8)
	ロ	複 合 用 途 (非 特 定)	22 (1)	15 (0)	68 (0)
16の2	地 下 街		—	—	—
16の3	準 地 下 街		—	—	—
17	重 要 文 化 財		1	1	100
18	ア ー ケ ー ド		—	—	—
19	指 定 山 林		—	—	—
20	指 定 舟 車		—	—	—

() 内は統括防火管理対象物を再掲

防 火 管 理 講 習 実 施 状 況

平成29年度

甲種防火管理新規講習		甲種防火管理再講習(三市共同開催)		乙種防火管理講習	
回 数	修 了 者 数	回 数	修 了 者 数	回 数	修 了 者 数
2	85	1	17	2	37

危険物施設等連區別設置状況

平成30年4月1日現在

連區別		合計	道	深	古	東	祖	陶	長	效	水	水	西	原	萩	八	品	下	山	本	菱	新	
施設別			合計	泉	川	瀬	明	母	原	根	範	南	野	陵	山	山	幡	野	野	口	地	野	郷
危険物施設	製造所	335	12	4	5	29	3	10	27	15	16	72	0	0	0	0	14	39	12	28	44	5	
	貯蔵所	屋内(特定)	44 (8)		1		1		1 (1)	2 (1)	2 (1)		19 (3)					1	2		11 (1)	3 (1)	1
		屋外タンク	36				11						9						12	1	1	2	
		屋内タンク	33	4	2	1	4	1	2	2	2		5					2	3	1	3	1	
		地下タンク	43			1		1	1	5	3	6	9					3	1	4	1	6	2
		簡易タンク	4				1											3					
		移動タンク	56	6				1	2	8	1	3	7					2	8		3	15	
		屋外	6																1		1	4	
	取扱所	給油(家用)	55 (29)			2 (2)	3 (3)		4 (1)	7 (2)	3 (1)	2 (1)	7 (4)					3 (2)	6 (2)	4 (2)	5 (4)	7 (5)	2
		一般	54	2	1	1	9			3	3	5	15						4	2	3	6	
		販売	1								1												
		指定数量の5倍以下	137	9	1		8	3	4	12	6	4	36					9	12	6	9	17	1
	5倍を超え10倍以下	66	2	2	1	9			3	4	5	15						2	6	3	8	4	2
	10倍を超え50倍以下	94	1	1	3	10			3	7	3	6	13					2	16	1	10	18	
	50倍を超え100倍以下	12			1	2							4					1	1			3	
100倍を超え150倍以下	6							1	1			2						2					
150倍を超え200倍以下	5											1						2		1	1		
200倍を超え250倍以下	6							1	2	1		1									1		
250倍を超え300倍以下	8							1	2	1	1								1			2	
300倍を超えるもの	1																		1				
少量危険物施設	528	22	15	18	31	23	37	38	42	22	85	4	4	3	2	38	28	19	69	12	16		
指定可燃物施設	87	2		1	8	1	5	4	4	1	26					8	5	3	15	3	1		
圧縮アセチレンガス施設	6								1		1								2	1		1	
液化石油ガス施設	980	38	32	52	86	48	49	72	64	44	82	6				68	102	94	48	55	40		
毒物・劇物施設	25		2		2		1		3	1	4							2	1	3	6		

() 内は再掲

危険物施設に関する申請等の件数

平成29年度

施設区分		合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
				屋内(特定)	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	(家用)	一般	販売
合計		98	4	11	(2)		7		7	2	25	(4)	35	
許可	設置	10		2	(1)	2		1	2	1			2	
	変更	34	1	4		1		2			12	(2)	14	
完成検査		12	2	1		2		1	1				3	
仮使用承認		30	1	4		1					11	(1)	13	
廃止・転出		8					2		4		1	(1)	1	
予防規程認可		4	1								1		2	
完成検査前検査														

仮貯蔵・仮取扱承認

() 内は再掲

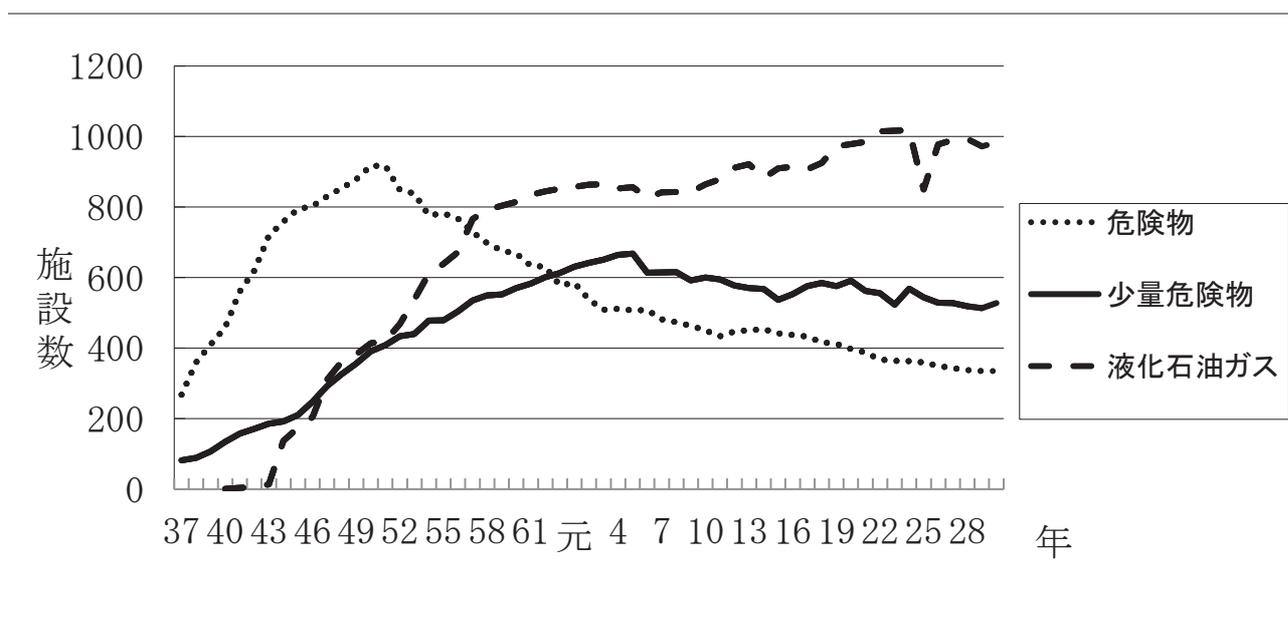
危険物施設等の10年間の推移

各年度4月1日現在

年度別		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
施設別	製造所	388	368	364	363	360	350	343	338	335	335	
	貯蔵所	屋内 (特定)	38 (8)	38 (8)	39 (8)	39 (8)	39 (8)	39 (8)	41 (8)	43 (8)	44 (9)	44 (8)
		屋外タンク	37	37	37	36	36	35	35	34	34	36
		屋内タンク	40	40	36	36	33	33	33	33	33	33
		地下タンク	55	53	52	54	51	48	48	48	44	43
		簡易タンク	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
		移動タンク	83	71	73	73	72	68	64	57	58	56
		屋外	4	4	5	5	5	5	5	6	5	6
	取扱所	給油 (家用)	67 (33)	64 (31)	63 (30)	61 (30)	62 (31)	60 (30)	58 (29)	57 (30)	56 (29)	55 (29)
		一般	58	55	53	53	56	56	53	54	53	54
		販売	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
少量危険物施設		562	556	523	569	554	529	528	519	513	528	
液化石油ガス施設		985	1015	1017	1018	850	978	990	993	972	980	

() 内は再掲

危険物施設等の推移



消 防 関 係 団 体

瀬 戸 防 火 防 災 協 会 連 合 会

この協会は、地域の防火防災思想の高揚と、地域ぐるみの防災体制の確立を図るため、昭和44年に組織され、20連区の町内会を単位に自主防災リーダー及び防火防災委員を委嘱し、「自分たちのまちは、自分たちで守る。」を合言葉に、市内全域の防火防災に関する連合組織として活動しています。

〈防火防災委員〉

平成30年4月1日現在

設置年月日	連 区 名	人 員	設置年月日	連 区 名	人 員
S44.4	道 泉	33	〃	品 野	26
〃	深 川	35	〃	西 陵	45
〃	古 瀬 戸	18	S51.4	八 幡 台	50
〃	東 明	13	S56.4	原 山 台	10
〃	祖 母 懐	21	〃	萩 山 台	70
〃	陶 原	28	H4.4	下 品 野	17
〃	長 根	57	H8.4	山 口	20
〃	效 範	97	H24.4	本 地	17
〃	水 南	18	〃	菱 野	12
〃	水 野	22	〃	新 郷	18
合 計					627

〈自主防災リーダー〉

平成30年4月1日現在

連 区 名	人 員	連 区 名	人 員
道 泉	13	品 野	48
深 川	18	西 陵	22
古 瀬 戸	17	八 幡 台	33
東 明	30	原 山 台	8
祖 母 懐	30	萩 山 台	11
陶 原	33	下 品 野	14
長 根	35	山 口	44
效 範	39	本 地	17
水 南	13	菱 野	16
水 野	22	新 郷	15
合 計			478

※ 自主防災リーダーは、平成11年度から市総合防災訓練を実施する中学校区に含まれる各連区において、消防団OBなどから選出され、各地域での防災訓練で住民の指導等を行っています。

街 頭 消 火 器 設 置 整 備 事 業

初期消火体制の確立を図るため昭和49年から「防火モデル地区」を指定し、街頭に消火器を設置整備し、昭和63年には「街頭消火器設置整備事業」と名称を改め、当該事業における消火器更新等の機会をとらえ、連区単位で防火防災委員を中心とした初期消火訓練を実施するなど、災害に強い安全なまちづくりに努めています。

平成30年4月1日現在

連 区 名	世 帯 数	町内会数	消 火 器 設置本数	平成29年度整備状況内訳		
				新 設	更 新	点検整備
道 泉	1,820	24	85	3	13	8
深 川	1,180	22	66		7	9
古 瀬 戸	1,598	17	74	1	7	10
東 明	1,392	14	67		6	8
祖 母 懐	1,275	27	83	3	10	12
陶 原	3,312	22	108		9	13
長 根	4,013	12	105	6	19	8
效 範	7,580	41	203		23	23
水 南	4,459	28	123	5	14	10
水 野	3,701	28	133	2	16	12
品 野	1,570	14	85		2	10
西 陵	3,096	12	91		8	11
八 幡 台	2,106	43	85		4	9
原 山 台	1,900	5	56		2	6
萩 山 台	1,661	3	64		4	10
下 品 野	3,096	14	98	1	12	9
山 口	4,018	19	132	2	27	14
本 地	2,428	24	85		7	3
菱 野	2,276	20	46		4	3
新 郷	2,701	6	79	2	11	2
合 計	55,182	395	1,868	25	205	190

※世帯数は平成30年1月1日現在の数値による。

瀬 戸 市 危 険 物 安 全 協 会

この協会は、危険物、液化石油ガスに起因する災害の発生を防止し、社会公共の福祉の増進に寄与する目的で昭和32年4月に設立されました。

防火広報活動、各種予防運動の主催及び講演会並びに各種講習会を開催し、危険物等の貯蔵、取扱いに必要な知識、技術の習得、施設の適正管理及び一般火災予防に関する知識の普及等活発な活動を行っています。

平成30年4月1日現在

名 称 合 計	愛知県陶磁器工業協同組合						品 野 工 組	赤 津 焼 工 組	硅 砂 組 合	浴 場 組 合	自 家 給	石 油 組 合	企 業 団 地	油 関 係	エ ル ピ ー 旭 分 会 ガ ス	そ の 他	
	テ ー ブル ウ ェ ア	陶 芸	赤 津 製 品	オ ー ナ メ ン ト ウ ェ ン ト	工 業 品 品	フ ァ イ ン セ ラ ミ ッ ク ス											
321	33	11	12	30	41	18	34	6	8	2	16	17	17	3	20	53	
	145																

瀬 戸 市 自 衛 消 防 連 絡 協 議 会

昭和52年に地域及び事業所の自衛消防組織をもって協議会を発足しました。各組織とも可搬消防ポンプ等により消防隊を編成し、事業所における火災等、各種災害の防ぎょ活動や予防広報活動を行っています。

各事業所自衛消防隊とは「地震等大規模災害時における消防業務に関する協定」を締結し、大規模な災害が発生した場合、消火活動や人命救助活動に協力を求めることにしています。

〈事業所自衛消防隊〉

平成30年4月1日現在

結成年月日	隊 名	人 員	結成年月日	隊 名	人 員
S45. 12. 1	(株)成田製陶所本社工場消防隊	5	S61. 3. 10	リンナイ(株)瀬戸工場消防隊	10
S47. 4. 1	(株)成田製陶所山口工場消防隊	22	H 2. 10. 1	品野セラミックタイル工業(株)消防隊	12
S49. 8. 1	東芝ライフスタイル(株)愛知事業所消防隊	6	〃	豊精密工業(株)消防隊	10
S50. 7. 1	(株)マルイチ消防隊	8	H 6. 4. 1	富士特殊紙業(株)消防隊	20
S52. 4. 1	伊藤忠セラテック(株)消防隊	21	H13. 4. 1	河村電器産業(株)本地工場消防隊	17
S56. 2. 1	河村電器産業(株)暁工場消防隊	19	H20. 4. 1	豊田合成(株)瀬戸工場消防隊	52
S56. 4. 1	ホーユー(株)瀬戸工場消防隊	36	H21. 8. 6	テクノエイト(株)消防隊	55
S57. 4. 1	鈴一物産(株)消防隊	4	合 計	16隊	308
S59. 3. 30	(株)東濃 LIXIL 製作所消防隊	11			

自 警 団

可搬消防ポンプを装備し、地域における火災等、各種災害の防ぎょ活動や予防広報活動を行っています。平成18年の組織改変により、自警団が一時防災課の管轄となりましたが、平成30年4月1日より消防課へ再移管されています。

平成30年4月1日現在

結成年月日	団 名	人 員	ポンプ (級 別)	配備年月日
S41. 4. 1	上半田川町自警団	17	ラビット社 (B - 3)	H11. 12
〃	下半田川町自警団	35	ラビット社 (B - 3)	H13. 1
〃	定光寺町自警団	21	ラビット社 (B - 3)	H11. 12
〃	片草町自警団	3	シバウラ社 (C - 1)	H25. 2
S52. 4. 1	白岩町自警団	6	ラビット社 (B - 3)	H10. 2
合 計	5 団	82		

瀬戸市婦人消防隊連絡協議会

各地域婦人（女性）防火クラブ相互の連絡協調を図り、家庭における火災予防思想の普及を目的として、平成元年4月1日に協議会が発足されました。

平成30年4月1日現在

結成年月日	クラブ名称	人員	結成年月日	クラブ名称	人員
S58. 4. 1	定光寺町婦人防火クラブ	48	H 2. 8. 20	道泉女性防火クラブ	49
S59. 11. 25	陶原婦人防火クラブ	11	H 9. 4. 1	下品野女性防火クラブ	44
S60. 12. 15	深川婦人防火クラブ	20	H13. 3. 30	祖母懐婦人防火クラブ	34
S62. 7. 14	幡山女性防火クラブ	62	H21. 8. 27	西陵女性防火クラブ	29
H 1. 8. 10	水野婦人防火クラブ	24	H27. 9. 28	效範女性防火クラブ	30
			合 計	10クラブ	351

瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会

学校教育の課外活動や地域活動の中で防火思想の普及に協力活動しています。また、平成12年4月1日に少年消防クラブから瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会に名称を変更し設立しました。

平成30年4月1日現在

結成年月日	クラブ名	人員	結成年月日	クラブ名	人員
S36. 6. 19	水南小学校少年消防クラブ	537	H 4. 9. 14	祖母懐小学校少年消防クラブ	123
S43. 1. 20	長根小学校少年消防クラブ	512	H18. 7. 6	幡山西小学校少年消防クラブ	553
S56. 9. 18	品野台少年消防クラブ	85	H23. 4. 1	道泉小学校少年消防クラブ	195
S57. 7. 18	八幡小学校少年消防クラブ	222	〃	東明小学校少年消防クラブ	122
S59. 9. 1	古瀬戸小学校少年消防クラブ	93	H23. 7. 8	深川小学校少年消防クラブ	45
S60. 4. 1	西陵小学校少年消防クラブ	780	H23. 7. 8	特別支援学校少年消防クラブ	28
〃	下品野小学校少年消防クラブ	443	H23. 7. 20	陶原小学校少年消防クラブ	625
S60. 6. 1	東山小学校少年消防クラブ	719	H23. 7. 25	效範小学校少年消防クラブ	571
〃	水野小学校少年消防クラブ	458	H24. 6. 21	掛川小学校少年消防クラブ	34
S60. 6. 3	萩山小学校少年消防クラブ	94	H24. 6. 25	原山小学校少年消防クラブ	217
S60. 6. 17	幡山東小学校少年消防クラブ	486	合 計	21クラブ	6,942

結成年月日	クラブ名	人員	結成年月日	クラブ名	人員
H23. 4. 1	本山中学校少年消防クラブ	62	H24. 5	水無瀬中学校少年消防クラブ	653
〃	幡山中学校少年消防クラブ	546	H24. 5	光陵中学校少年消防クラブ	259
〃	水野中学校少年消防クラブ	485	H24. 6	品野中学校少年消防クラブ	253
H23. 7. 5	祖東中学校少年消防クラブ	167	H26. 4. 1	特別支援学校少年消防クラブ	25
H23. 7. 20	南山中学校少年消防クラブ	973	合 計	9クラブ	3,423

瀬戸市幼年消防クラブ

このクラブは、幼年期において正しい火の取扱いについて学び、消防の仕事を理解させることで、火遊び等による火災の減少を図り、将来の地域防災を担う人材を育成するとともに、園児を介して家族等にも防火等に関する広報活動を行うことを目的に平成23年5月23日に結成されました。

平成30年4月1日現在

加入年月日	園名	人員	加入年月日	園名	人員
H23. 5. 23	幡山南保育園	86	H23. 5. 23	瀬戸北保育園	88
H23. 5. 23	八幡保育園	74	H23. 5. 23	萩山保育園	88
H23. 5. 23	水北保育園	131	H23. 5. 23	みずの保育園	98
H23. 5. 23	古瀬戸保育園	68	H23. 5. 23	ふたば保育園	79
H23. 5. 23	アートチャイルドケア瀬戸幡山西 (旧幡山西保育園)	113	H23. 5. 23	キッズプラザアスク 新瀬戸	125
H23. 5. 23	品野西保育園	100	H23. 5. 23	ひなご幼稚園	137
H23. 5. 23	こうはん保育園	97	H23. 5. 23	雪の聖母幼稚園	61
H23. 5. 23	原山保育園	88	H23. 5. 23	マリア幼稚園	229
H23. 5. 23	水南保育園	107	H23. 5. 23	真貴幼稚園	362
H23. 5. 23	西保育園	103	H23. 5. 23	菱野幼稚園	397
H23. 5. 23	南保育園	118	H23. 5. 23	はちまん幼稚園	250
H23. 5. 23	幡山東保育園	119	H23. 5. 23	瀬戸幼稚園	384
H23. 5. 23	アートチャイルドケア瀬戸南山 (旧こうはん南保育園)	130	合計	26園	3,739
H23. 5. 23	東保育園	107			

防 災 会

防災会は、アーケード内の商店街を中心として、隣接する密集家屋等の特殊地域を火災から守るため、会員相互による防災対策の検討や各種の防火思想の普及活動をしています。

また、近年は年末年始等に火災警戒のための警戒巡回や広報活動も活発に実施しています。

平成30年4月1日現在

結成年月日	名 称	人 員
S55. 12. 1	末 広 町 防 災 会	7
S56. 12. 1	朝 日 町 防 災 会	10

安心・安全トピックス

わんわん消防隊

近年のペットブームを受け、飼い主とペットが定期的に行う散歩又は飼い主同士のコミュニケーションの場を利用し、防火・防災等のPRをすることを目的として発足しました（平成24年11月）。

朝夕に見かける飼い主とペットの散歩は非常に多く、愛犬に消防隊メダルを着けてもらうとともに、飼い主には消防隊員証を発行し、消防隊員という名の下、防火意識の普及啓発に効果をあげています。

平成30年4月1日現在

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
登録状況（頭）	167	237	236	247	257	254



火の用心



救急安心たまご

救急安心たまごは、緊急連絡先や既往歴などの必要事項を記入した安心カードをたまご型のカプセルに入れて、自宅冷蔵庫のたまごケースに保管しておきます。

冷蔵庫のドアに貼られたシールを目印に、救急隊が傷病者の情報を正確に入手する手段として活用します。

救急安心たまご配布状況（平成22年から）

平成30年4月1日現在（各年中）

H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合計
2,991	1,311	1,046	970	523	410	649	667	8,567

第4編

火災統計

平成29年中の火災発生状況と前年との比較

区 分	平成29年 (A)	平成28年 (B)	増減 (A)-(B)=(C)	増減率 (%) (C)/(B)×100
出 火 件 数 (件)	38	36	2	5.6
建物火災	20	18	2	11.1
林野火災	2	0	2	▲ 200.0
車両火災	3	2	1	50.0
船舶火災	0	0	0	0.0
航空機火災	0	0	0	0.0
その他火災	13	16	▲ 3	▲ 18.8
焼 損 棟 数 (棟)	25	21	4	19.0
全 焼	4	2	2	100.0
半 焼	1	2	▲ 1	▲ 50.0
部 分 焼	8	9	▲ 1	▲ 11.1
ぼ や	12	8	4	50.0
建物焼損床面積 (㎡)	433	364	69	19.0
建物焼損表面積 (㎡)	17	71	▲ 54	▲ 76.1
林野焼損面積 (a)	3	0	3	-
死 者 (人)	0	1	▲ 1	▲ 100.0
負 傷 者 (人)	4	5	▲ 1	▲ 20.0
り 災 世 帯 数 (世帯)	23	21	2	9.5
全 損	5	3	2	66.7
半 損	1	1	0	0.0
小 損	17	17	0	0.0
り 災 人 員 (人)	63	47	16	34.0
損 害 額 (千円)	36,100	40,556	▲ 4,456	▲ 11.0
建物火災	20,504	39,893	▲ 19,389	▲ 48.6
林野火災	0	0	0	0.0
車両火災	6,495	345	6,150	1,782.6
船舶火災	0	0	0	0.0
航空機火災	0	0	0	0.0
その他火災	9,101	318	8,783	2,761.9
出 火 率 (件/万人)	2.9	2.8	0.1	—

※ ▲は減少を示す。

原因別・用途別火災状況

平成29年中

用途 出火原因	出火件数合計	建 物 火 災							林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災	焼 損 面 積		死 傷 者 数		損 害 額 (千円)
		小 計	住 宅		産 業 用							建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者	
			専 用 住 宅	併 用 住 宅	事 務 所	工 場 ・ 作 業 所	店 舗	そ の 他								
放火・放火の疑い	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	5	0	0	0	365	
こ ん ろ	5	5	4	0	0	0	0	1	0	0	48	0	0	0	8,148	
た ば こ	7	2	2	0	0	0	0	0	2	0	108	3	0	1	1,872	
た き 火	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
火 あ そ び	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
焼 却 炉	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	15	
配 線 器 具	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
ス ト ー ブ	3	3	2	0	0	0	0	1	0	0	189	0	0	1	4,958	
マッチ・ライター	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
火 入 れ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
排 気 管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電 気 機 器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	
電灯・電話等の配線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
そ の 他	9	5	3	1	0	1	0	0	0	1	83	0	0	0	14,291	
不 明	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6,436	
合 計	38	20	15	1	1	1	0	2	2	3	433	3	0	4	36,100	

初期消火実施状況

平成29年中

区 分 火災種別	火災件数 (A)	初期消火 実施件数 (B)	初 期 消 火 の 種 類				実施率(% (B)/(A))	平成28年 実施率(%)
			消火器	水バケツ	水道水・ 汲み置き水等	その他		
建物火災	20	15	6	1	7	1	75.0	55.6
林野火災	2	0	0	0	0	0	-	0.0
車両火災	3	2	2	0	0	0	66.7	100.0
その他火災	13	7	2	1	3	1	53.8	68.8
合 計	38	24	10	2	10	2	63.2	63.9

出火原因別（発火源・経過・着火物）火災発生件数

平成29年中

原因	計	発火源	計	経過	計	着火物	計
たばこ	7	たばこ	7	不適當なところへ捨て置く	6	落葉	3
						枯草	2
						合成樹脂と成形品	1
				その他	1	ふとん	1
こんろ	5	電気クッキングヒータ	1	放置する、忘れる	4	合成樹脂と成形品	1
		大型こんろ	1			動植物油類	2
		ガステーブル	1				
		ガスこんろに付属する魚焼きグリル	1				
		簡易型ガスこんろ（カセット型）	1	高温物が触れる	1	その他	2
ストーブ	3	石油・ガソリンストーブ（開放式）	1	その他	1	第二石油類	1
		ガスストーブ（開放式）	1	引火する	1	都市ガス	1
		電気ストーブ・火鉢（開放式）	1	可燃物が火源の上に転倒落下する	1	不明	1
火遊び	2	マッチ	1	火遊び	2	芝草	1
		ライター	1			ごみ類	1
放火	2	簡易型ガスこんろ（カセット型）	1	放火	2	袋及び紙製品	1
		火のついた新聞紙	1			板張（床張、根太及び土台）	1
配線器具	2	プラグ（電気器具）	1	金属の接触部が過熱する	1	合成樹脂と成形品（合成樹脂製被覆）	1
		テーブルタップ	1	過多の電流を流す	1	その他（タップ）	1
焼却炉	2	ごみ焼却炉の火の粉	2	火の粉が散る遠くへ飛火する	2	ごみ類	1
						枯草	1
マッチ・ライター	1	ライター	1	放火・火遊び以外で無意識に火をつける	1	衣類	1
電気機器	1	その他の移動可能な電熱器（投げ込みヒーター）	1	放置する、忘れる	1	その他（接着剤）	1
火入れ	1	枯草焼き	1	火源が動いて接触する	1	枯草	1
溶接機・切断機	1	アセチレンガス切断機	1	火花が飛ぶ	1	その他（プラスチック製養生板）	1
その他	8	スポットライト（センサーライト）	1	可燃物が動いて火源に触れる	1	繊維製品	1
		蛍光灯	1	過多の電流を流す	1	テックス	1
		線香	1	火源が転倒落下する	2	座ぶとん	1
		燻煙殺虫剤	1			紙屑（新聞）	1
		その他の静電スパーク	1	引火する	1	液化石油ガス	1
		ジェットヒーター	1	放置する、忘れる	1	その他	3
		バーナー	1	その他	1		
		その他	1	スパークによる引火	1		

署 所 別・連 区 別 火 災 状 況

平成29年中

区分 署所別・連区別	出火件数					焼損棟数	焼損面積		死傷者数		り災世帯数	り災人員	損害額 (千円)
	合計	建物	林野	車両	その他		建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者			
消防署	14	7	1	0	6	12	381	2	0	2	13	32	11,888
東分署	14	6	1	1	6	6	49	1	0	1	5	19	17,215
南分署	10	7	0	2	1	7	3	0	0	1	5	12	6,997
合 計	38	20	2	3	13	25	433	3	0	4	23	63	36,100
道 泉	1	1	0	0	0	1	3	0	0	0	1	2	18
深 川	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	5
古瀬戸	4	3	1	0	0	3	47	1	0	0	2	5	7,977
東 明	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	9,087
祖母懐	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	7	1
陶 原	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
長 根	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
效 範	3	2	0	0	1	4	189	0	0	1	4	12	6,882
水 南	3	1	0	0	2	1	0	0	0	0	1	4	33
水 野	6	2	1	0	3	5	189	2	0	2	6	12	4,955
西 陵	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2	0
原山台	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	0
萩山台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
品 野	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
下品野	2	1	0	1	0	1	2	0	0	0	1	6	145
山 口	3	2	0	1	0	2	1	0	0	0	2	6	6,589
本 地	3	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	16
菱 野	2	2	0	0	0	2	2	0	0	0	1	2	348
新 郷	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	44

曜 日 別 ・ 月 別 火 災 状 況

平成29年中

区分 曜日・月	出火件数					焼 損 棟 数	焼 損 面 積		死 傷 者 数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員	損 害 額 (千円)
	合計	建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
月曜日	8	4	2	0	2	4	48	3	0	1	2	6	8,124
火曜日	3	2	0	0	1	2	2	0	0	0	2	7	106
水曜日	5	5	0	0	0	8	189	0	0	1	9	25	4,977
木曜日	5	3	0	1	1	3	0	0	0	0	3	8	6,441
金曜日	4	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	59
土曜日	10	4	0	0	6	5	111	0	0	2	5	9	10,992
日曜日	3	2	0	0	1	3	83	0	0	0	2	8	5,401
合 計	38	20	2	3	13	25	433	3	0	4	23	63	36,100
1 月	6	5	0	0	1	5	3	0	0	0	4	8	25
2 月	6	2	1	0	3	2	0	2	0	0	2	5	9,121
3 月	9	5	1	0	3	8	192	1	0	1	8	19	5,495
4 月	2	1	0	1	0	1	47	0	0	0	1	1	7,985
5 月	2	1	0	1	0	1	2	0	0	0	1	6	6,537
6 月	5	0	0	1	4	0	0	0	0	2	0	0	44
7 月	3	3	0	0	0	3	0	0	0	0	2	5	10
8 月	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	7	1
9 月	2	1	0	0	1	2	81	0	0	0	2	8	5,054
10 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 月	1	1	0	0	0	2	108	0	0	1	2	4	1828
12 月	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

天 候 別 火 災 状 況

平成29年中

区分 天 候	出火件数					焼 損 棟 数	焼 損 面 積		死 傷 者 数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員	損 害 額 (千円)
	合計	建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
快晴	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
晴	24	12	0	2	10	15	244	0	0	2	14	36	13,656
曇	10	6	1	1	2	7	108	1	0	2	6	17	8,302
雨	1	1	0	0	0	2	81	0	0	0	2	8	5,054
雪	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2	9088
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	38	20	2	3	13	25	433	3	0	4	23	63	36,100

時 間 別 火 災 状 況

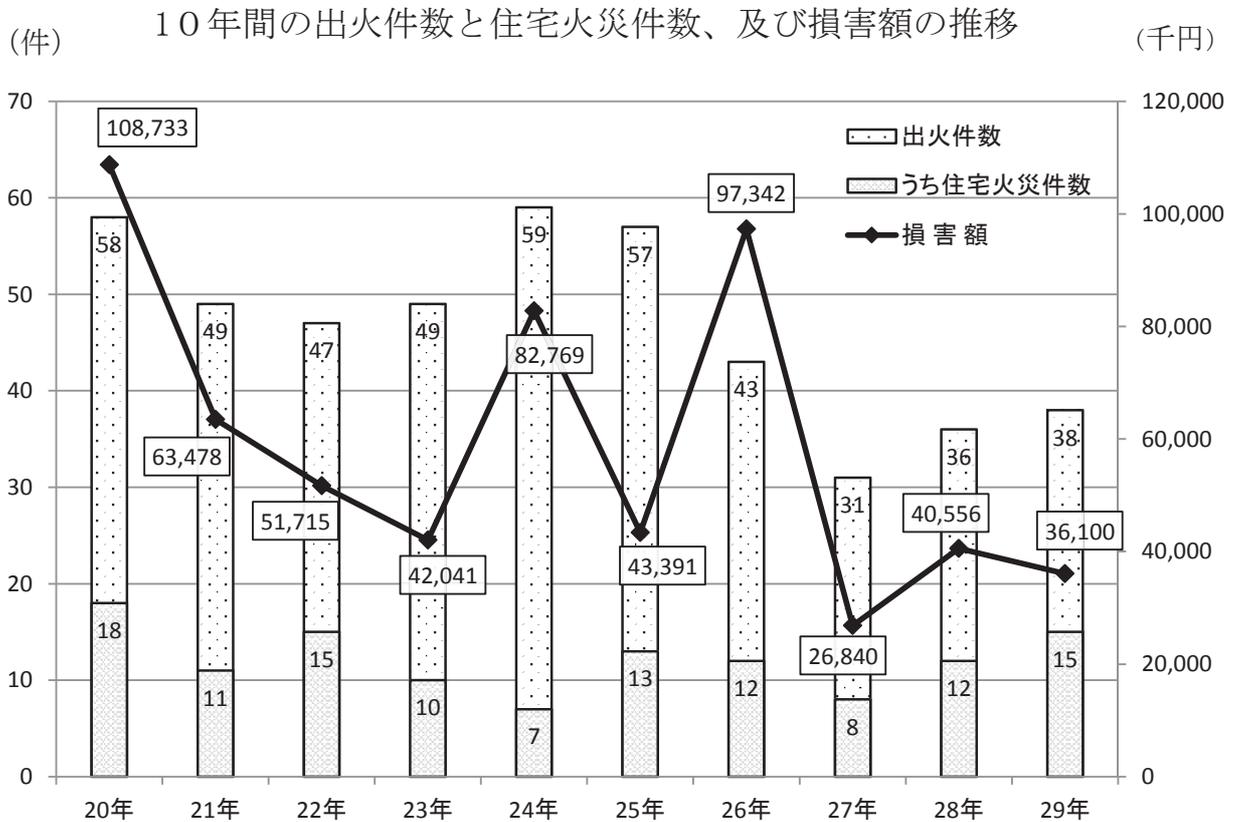
平成29年中

区分 時間	出 火 件 数					焼 損 棟 数	焼 損 面 積		死 傷 者 数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員	損 害 額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
0時～1時	2	2	0	0	0	3	81	0	0	0	3	9	5,055
1時～2時	3	3	0	0	0	4	111	0	0	1	3	9	2,325
2時～3時	1	1	0	0	0	4	189	0	0	1	5	11	4,954
3時～4時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4時～5時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5時～6時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6時～7時	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0
7時～8時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8時～9時	3	1	0	2	0	1	0	0	0	0	1	1	64
9時～10時	4	4	0	0	0	4	0	0	0	0	2	9	6
10時～11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11時～12時	2	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0
12時～13時	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
13時～14時	5	3	0	0	2	3	2	0	0	0	3	8	148
14時～15時	4	1	1	0	2	1	0	1	0	0	1	3	0
15時～16時	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
16時～17時	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
17時～18時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18時～19時	3	2	0	0	1	2	3	0	0	0	2	6	22
19時～20時	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	9,087
20時～21時	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4	19
21時～22時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22時～23時	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
23時～24時	1	1	0	0	0	1	47	0	0	0	1	1	7,970
不 明	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	6,450
合 計	38	20	2	3	13	25	433	3	0	4	23	63	36,100

10年間の火災状況

区分 年 別	出 火 件 数						焼 損 面 積		死 傷 者 数		損 害 額 (千円)
	合計	建物	住宅	林野	車両	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	
平成 20 年	58	26	(18)	7	7	18	1,300	24	2	6	108,733
平成 21 年	49	18	(11)	10	3	18	310	25	2	10	63,478
平成 22 年	47	21	(15)	9	2	15	532	17	3	3	51,715
平成 23 年	49	21	(10)	8	5	15	619	188	3	6	42,041
平成 24 年	59	19	(7)	6	9	25	1,125	53	2	5	82,769
平成 25 年	57	21	(13)	9	4	23	498	79	1	8	43,391
平成 26 年	43	16	(12)	6	7	14	773	15	1	6	97,342
平成 27 年	31	15	(8)	2	2	12	334	47	1	6	26,840
平成 28 年	36	18	(12)	0	2	16	364	0	0	5	40,556
平成 29 年	38	20	(15)	2	3	13	433	3	0	4	36,100
10年間平均	47	20	(12)	6	4	17	629	45	2	6	59,297

() の数字は住宅火災の件数

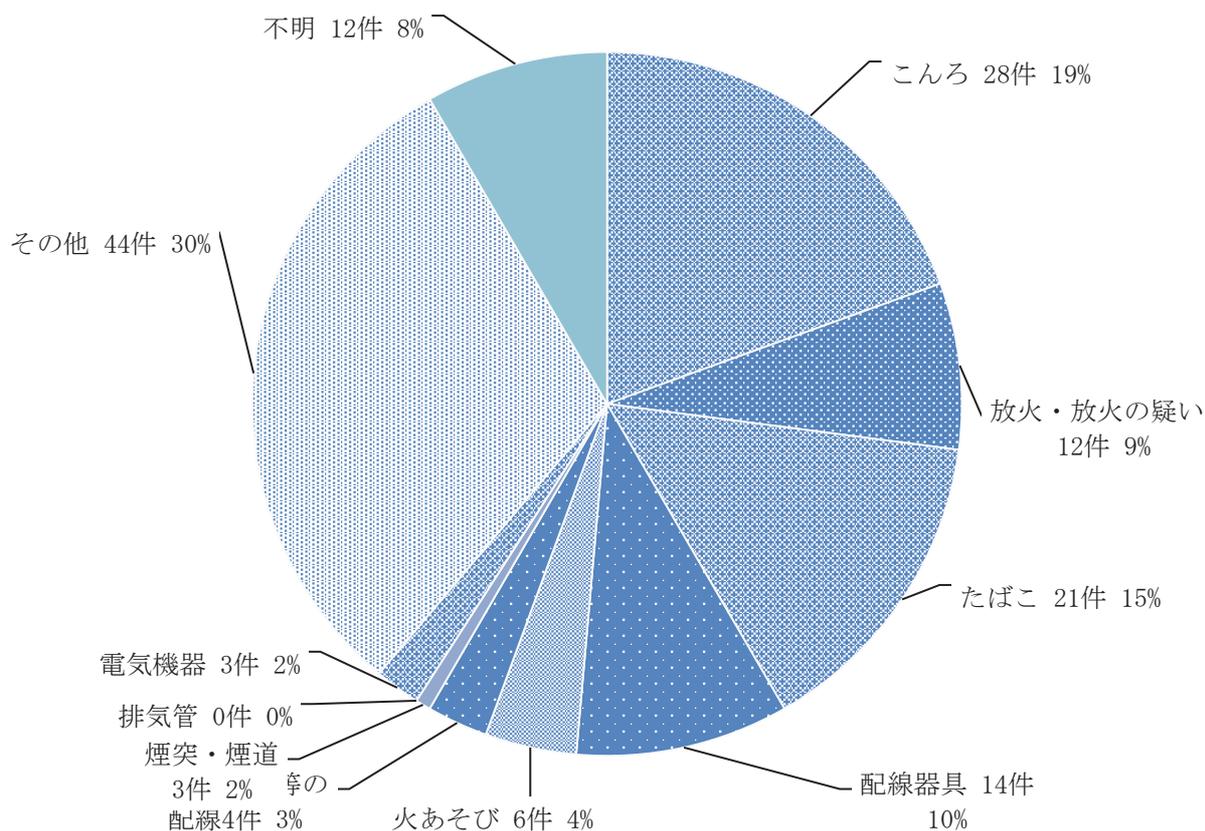


10年間の住宅火災の状況

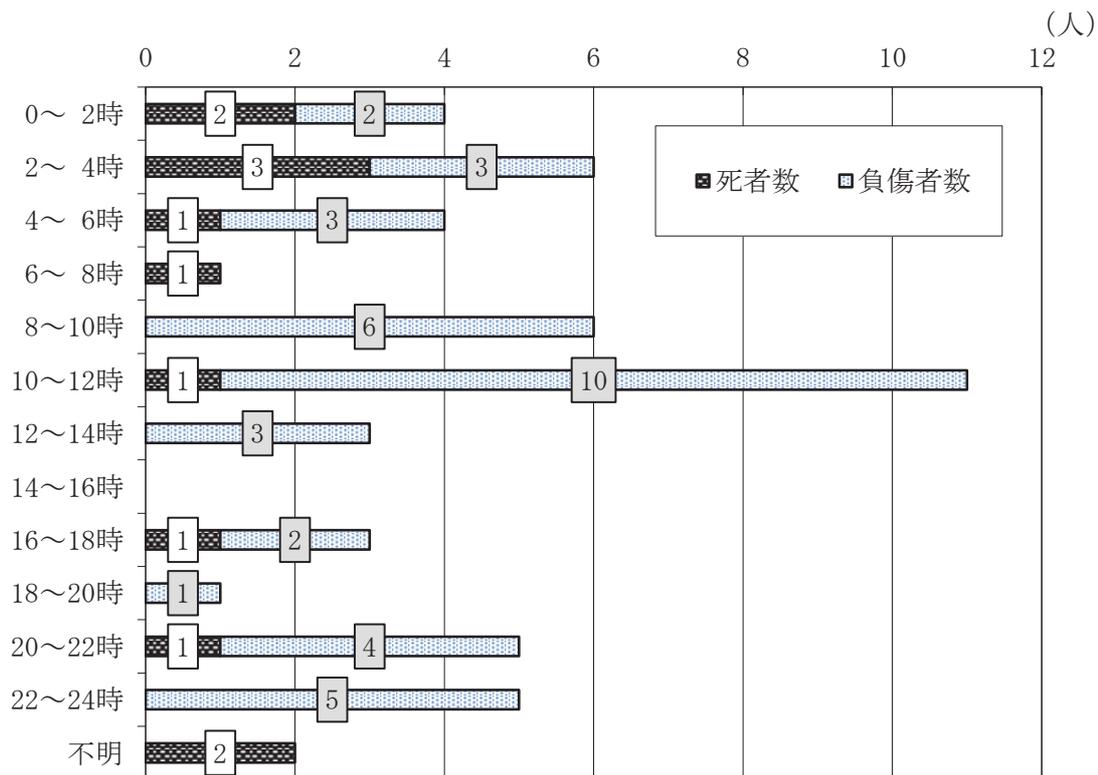
年別	区分 出火 件数	焼損棟数					死傷者数		損害額 (千円)
		全焼	半焼	部分焼	ぼや	爆発	死者	負傷者	
平成20年	18	2	1	6	13	0	1	3	98,034
平成21年	11	2	0	3	7	0	2	7	47,442
平成22年	15	4	2	5	12	0	2	3	38,881
平成23年	10	3	1	3	6	0	3	3	21,387
平成24年	7	2	1	5	4	0	2	3	15,541
平成25年	13	2	0	3	8	0	1	7	43,391
平成26年	12	3	1	7	8	0	0	5	47,663
平成27年	8	1	2	2	6	0	1	4	18,226
平成28年	12	2	2	7	5	0	0	5	36,031
平成29年	15	4	1	7	8	0	0	2	20,147
10年間合計	121	25	11	48	77	0	12	42	386,743
10年間平均	12	3	1	5	8	0	1	4	38,674

死傷者数は放火自殺者等を除く。

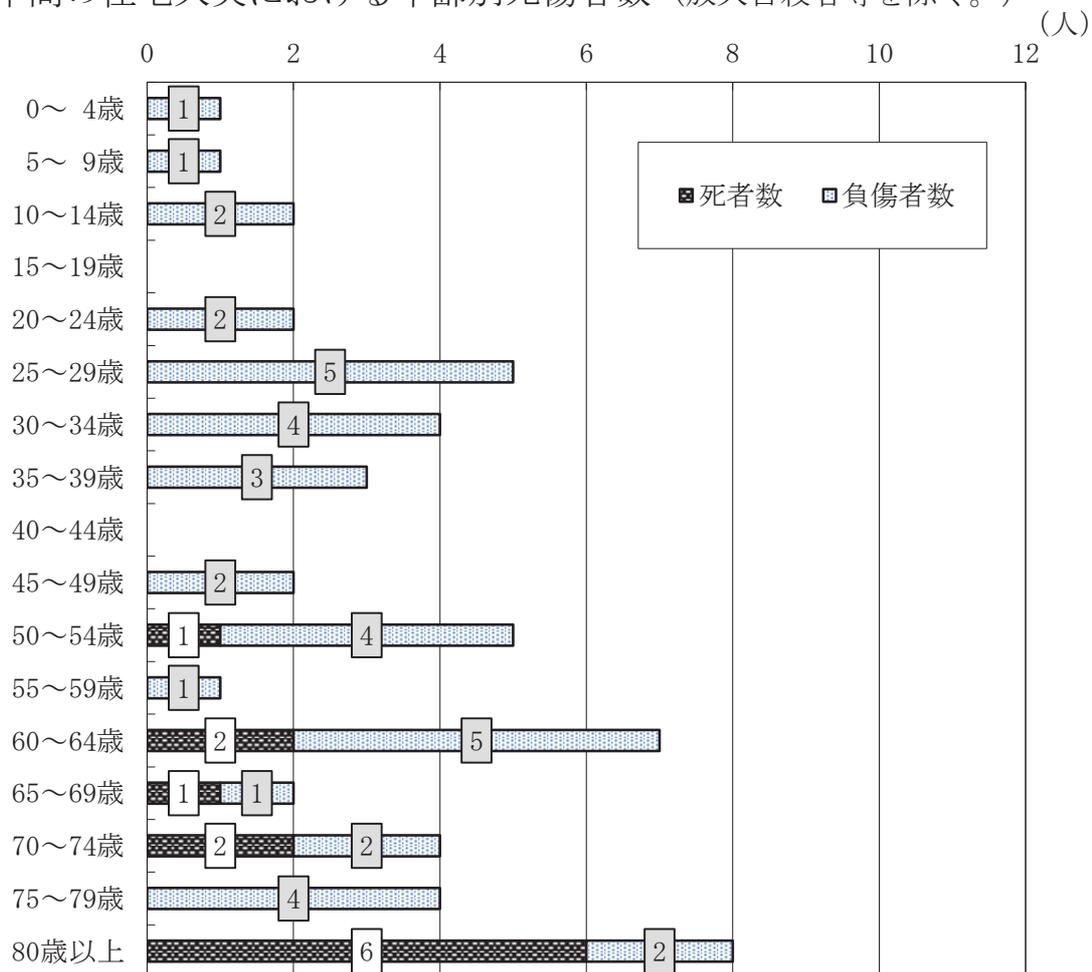
10年間の住宅火災における出火原因別件数



10年間の住宅火災における時間別死傷者数（放火自殺者を除く。）



10年間の住宅火災における年齢別死傷者数（放火自殺者等を除く。）



10年間の主な火災

区分 年月日	発生場所	火元用途	出火原因	焼損面積	死傷者数		損害額 (千円)
					死者	負傷者	
H19. 1. 1	仲切町	作業所	不明	1,212 m ²	0	0	50,714
H19. 3. 13	東茨町	併用住宅	ドライヤー	106 m ²	0	0	28,018
H19. 3. 18	湯之根町	作業所	不明	633 m ²	0	0	13,155
H19. 11. 18	原山町	学校	放火	656 m ²	0	0	40,275
H20. 12. 26	西古瀬戸町	併用住宅	バーナー	766 m ²	0	0	60,755
H21. 6. 12	道泉町	住宅	灯火	100 m ²	0	1	38,801
H22. 4. 18	原山町	住宅	不明	202 m ²	0	0	26,960
H22. 8. 26	元町1丁目	併用住宅	不明	88 m ²	1	0	1,321
H22. 11. 3	松原町2丁目	住宅	不明	47 m ²	1	0	1,562
H22. 1. 10	松原町3丁目	住宅	灯火	82 m ²	1	0	8,979
H22. 11. 5	上之山町1丁目	共同住宅	不明	23 m ²	2	0	1,022
H23. 4. 3	仲郷町	住宅	ストーブ	233 m ²	0	2	4,836
H23. 9. 26	宮地町	住宅	放火の疑い	55 m ²	0	0	6,242
H23. 12. 22	高根町1丁目	店舗	その他	69 m ²	0	0	8,352
H24. 6. 9	泉町	工場	電気配線	384 m ²	0	0	15,272
H24. 8. 3	本郷町	工場	電気機器	9 m ²	0	0	27,179
H24. 8. 14	今池町	共同住宅	蚊取り線香	431 m ²	1	1	14,290
H24. 12. 13	共栄通1丁目	住宅	不明	87 m ²	1	0	1,225
H25. 1. 28	内田町1丁目	住宅	ストーブ	14 m ²	0	0	2,140
H25. 5. 1	東十三塚町	住宅	その他	183 m ²	1	2	4,100
H25. 6. 30	原山台2丁目	住宅	灯火	132 m ²	0	0	11,440
H25. 11. 9	東菱野町	住宅	不明	134 m ²	0	4	20,761
H26. 2. 9	水北町	住宅	たばこ	236 m ²	0	0	12,439
H26. 4. 25	山路町	工場	衝撃火花	0 m ²	1	0	33,137
H26. 5. 5	東印所町	住宅	配席器具	178 m ²	0	2	3,430
H26. 5. 15	苗場町	共同住宅	こんろ	90 m ²	0	0	13,528
H26. 6. 4	坊金町	住宅	線香	118 m ²	0	1	8,965
H27. 5. 11	内田町1丁目	倉庫	配線器具	56 m ²	0	0	813
H27. 7. 2	十軒町	作業場	溶接機・切断機	100 m ²	0	0	246
H27. 9. 3	中水野町1丁目	住宅	不明	122 m ²	1	0	12,717
H28. 2. 20	西洞町	住宅	その他	156 m ²	0	0	14,059
H28. 2. 28	進陶町	住宅	不明	78 m ²	0	0	15,405
H28. 3. 13	東米泉町	共同住宅	たばこ	38 m ²	0	0	2,675
H28. 8. 28	萩山台6丁目	住宅	不明	12 m ²	0	0	2,769
H29. 3. 22	上本町	住宅	その他	189 m ²	0	1	4,954
H29. 4. 3	西古瀬戸町	住宅	不明	47 m ²	0	0	7,970
H29. 9. 17	東山町	住宅	たばこ	81 m ²	0	0	5,054
H29. 11. 18	北脇町	住宅	不明	108 m ²	0	1	1,828

第5編

救急・救助統計

事故種別救急出動件数及び搬送人員

年別 事故種別		平成29年中		平成28年中		対前年比	
		出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)
急病		3,670 (3,505)	68.7 (69.0)	3,624 (3,450)	68.3 (68.1)	46 (55)	1.3 (1.6)
一般負傷		784 (756)	14.7 (14.9)	754 (748)	14.2 (14.8)	30 (08)	4.0 (1.1)
交通事故		405 (393)	7.6 (7.7)	452 (454)	8.5 (9.0)	▲47 (▲61)	▲10.4 (▲13.4)
自損行為		41 (30)	0.8 (0.6)	43 (30)	0.8 (0.6)	▲2 (00)	▲4.7 (0.0)
運動競技		58 (54)	1.1 (1.1)	44 (44)	0.8 (0.9)	14 (10)	31.8 (22.7)
労働災害		44 (42)	0.8 (0.8)	60 (54)	1.1 (1.1)	▲16 (-12)	▲26.7 (-22.2)
加害		19 (17)	0.4 (0.3)	12 (8)	0.2 (0.2)	7 (△9)	58.3 (△112.5)
火災		3 (3)	0.1 (0.1)	5 (5)	0.1 (0.1)	▲2 (▲2)	▲40.0 (▲40.0)
水難		0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	- (-)
自然災害		0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	- (-)
その他	転院搬送	276 (274)	5.2 (5.4)	267 (266)	5.0 (5.3)	9 (△8)	3.4 (△3.0)
	医師搬送	1 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (0.0)	1 (0)	- (-)
	資材搬送	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	- (-)
	その他	39 (3)	0.7 (0.1)	43 (4)	0.8 (0.1)	▲4 (-1)	▲9.3 (-25.0)
合計	5,340 (5,077)	100.0 (100.0)	5,304 (5,063)	100.0 (100.0)	36 (△14)	0.7 (△0.3)	

※ ▲は減少を示す。

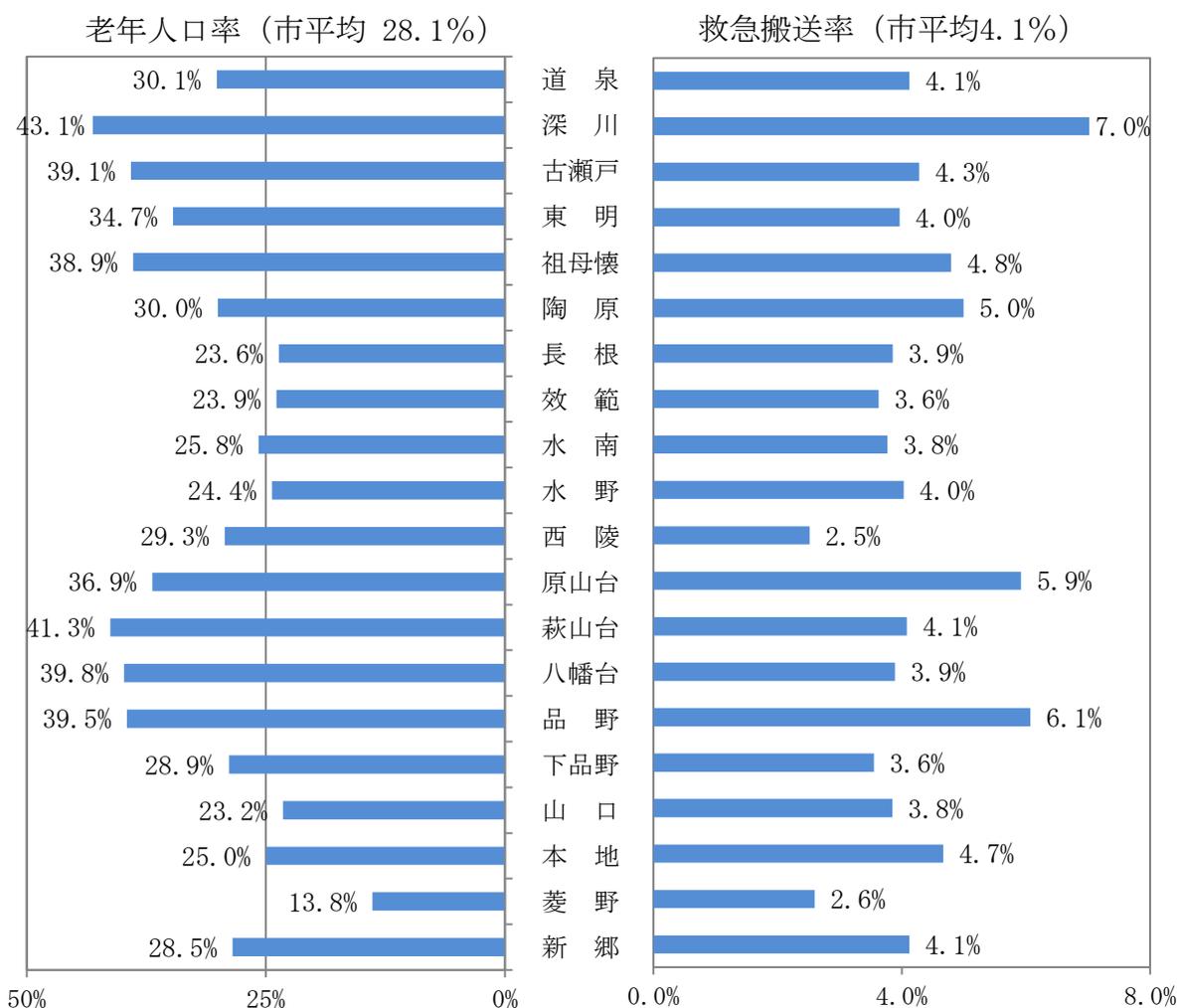
署所別救急出動件数

平成29年中

区 分	合 計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	そ の 他			
												転院 搬送	医師 搬送	資材 搬送	その他
消 防 署	1,179	0	0	0	90	7	13	176	5	17	766	94	1	0	10
東 分 署	1,023	0	0	0	87	13	8	157	0	5	713	27	0	0	13
南 分 署	1,333	0	0	0	87	13	14	212	4	8	938	51	0	0	6
救急対策室	1,805	3	0	0	141	11	23	239	10	11	1,253	104	0	0	10
合 計	5,340	3	0	0	405	44	58	784	19	41	3,670	276	1	0	39

連区別の老年人口率と救急搬送率

平成29年中



※ 老年人口率：各連区の総人口のうち65歳以上人口が占める割合
 救急搬送率：各連区の総人口のうち救急搬送された人員の割合

曜日別・月別救急出動件数

平成29年中

区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
月	750	1	0	0	53	10	7	105	2	9	506	57
火	771	0	0	0	66	6	4	116	2	6	519	52
水	726	1	0	0	56	9	6	88	1	12	504	49
木	789	0	0	0	62	6	5	140	2	1	531	42
金	758	0	0	0	73	6	4	102	3	2	506	62
土	736	1	0	0	45	5	22	112	5	7	500	39
日	810	0	0	0	50	2	10	121	4	4	604	15
合計	5,340	3	0	0	405	44	58	784	19	41	3,670	316
1月	502	0	0	0	25	5	1	76	0	1	366	28
2月	422	0	0	0	21	5	1	61	0	5	303	26
3月	423	1	0	0	30	4	9	73	2	2	279	23
4月	405	0	0	0	44	1	6	53	0	2	271	28
5月	435	0	0	0	29	0	7	64	1	6	303	25
6月	402	1	0	0	26	4	4	58	3	3	271	32
7月	473	0	0	0	37	4	7	57	4	4	339	21
8月	460	0	0	0	37	3	6	68	2	3	311	30
9月	440	0	0	0	42	3	5	56	0	5	307	22
10月	434	0	0	0	46	10	5	80	3	4	258	28
11月	440	1	0	0	30	2	4	58	2	1	318	24
12月	504	0	0	0	38	3	3	80	2	5	344	29

時間別救急出動件数

平成29年中

区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	5,340	3	0	0	405	44	58	784	19	41	3,670	316
0～2時	228	0	0	0	4	0	0	24	1	2	171	5
2～4時	183	0	0	0	6	0	0	19	1	3	151	8
4～6時	196	0	0	0	9	3	0	20	1	2	178	4
6～8時	431	0	0	0	42	1	0	64	0	3	310	3
8～10時	652	1	0	0	70	8	3	90	0	11	423	28
10～12時	691	0	0	0	42	16	13	115	2	3	394	67
12～14時	560	2	0	0	53	9	9	63	0	1	388	63
14～16時	554	0	0	0	51	10	11	98	1	7	329	33
16～18時	538	1	0	0	57	11	4	92	1	5	356	37
18～20時	509	1	0	0	66	1	3	81	0	2	383	35
20～22時	444	0	0	0	31	1	1	49	1	1	307	22
22～24時	354	0	0	0	21	0	0	39	4	3	234	5

傷 病 程 度 別 搬 送 人 員

平成29年中

傷病程度 事故種別	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	合 計
急 病 (構成比：%)	44 (1.3)	140 (4.0)	1,042 (29.7)	2,279 (65.0)	0 (0.0)	3,505 (100.0)
交 通 事 故 (構成比：%)	2 (0.5)	12 (3.1)	72 (18.3)	307 (78.1)	0 (0.0)	393 (100.0)
一 般 負 傷 (構成比：%)	0 (0.0)	22 (2.9)	138 (18.3)	596 (78.8)	0 (0.0)	756 (100.0)
そ の 他 (構成比：%)	4 (0.9)	38 (9.0)	253 (59.8)	128 (30.3)	0 (0.0)	423 (100.0)
合 計 (構成比：%)	50 (1.0)	212 (4.2)	1,505 (29.6)	3,310 (65.2)	0 (0.0)	5,077 (100.0)

[備考] 傷病程度区分は次によっている。

- 1 死 亡 初診時において死亡が確認されたもの。
- 2 重 症 傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
- 3 中等症 傷病程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。
- 4 軽 症 傷病程度が入院を必要としないもの。
- 5 その他 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの。

年 齢 区 分 別 搬 送 人 員

平成29年中

事故種別 年齢区分		急 病	交通事故	一般負傷	その他	合 計	救急搬送率 (%)
新 生 児 (構成比：%)	2 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (1.4)	8 (0.2)	3.3	
乳 幼 児 (構成比：%)	129 (3.7)	7 (1.8)	65 (8.6)	4 (0.9)	205 (4.0)		
少 年 (構成比：%)	98 (2.8)	56 (14.2)	33 (4.4)	49 (11.6)	236 (4.6)	1.6	
成 人 (構成比：%)	859 (24.5)	234 (59.5)	116 (15.3)	167 (39.5)	1,376 (27.1)	2.0	
高 齢 者	65～74歳 (構成比：%)	649 (18.5)	51 (13.0)	133 (17.6)	52 (12.3)	885 (17.4)	4.6
	75歳以上 (構成比：%)	1,768 (50.4)	45 (11.5)	409 (54.1)	145 (34.3)	2,367 (46.6)	12.7
	小 計	2,417 (69.0)	96 (24.4)	542 (71.7)	197 (46.6)	3,252 (64.1)	8.6
合 計 (構成比：%)	3,505 (100.0)	393 (100.0)	756 (100.0)	423 (100.0)	5,077 (100.0)	/	

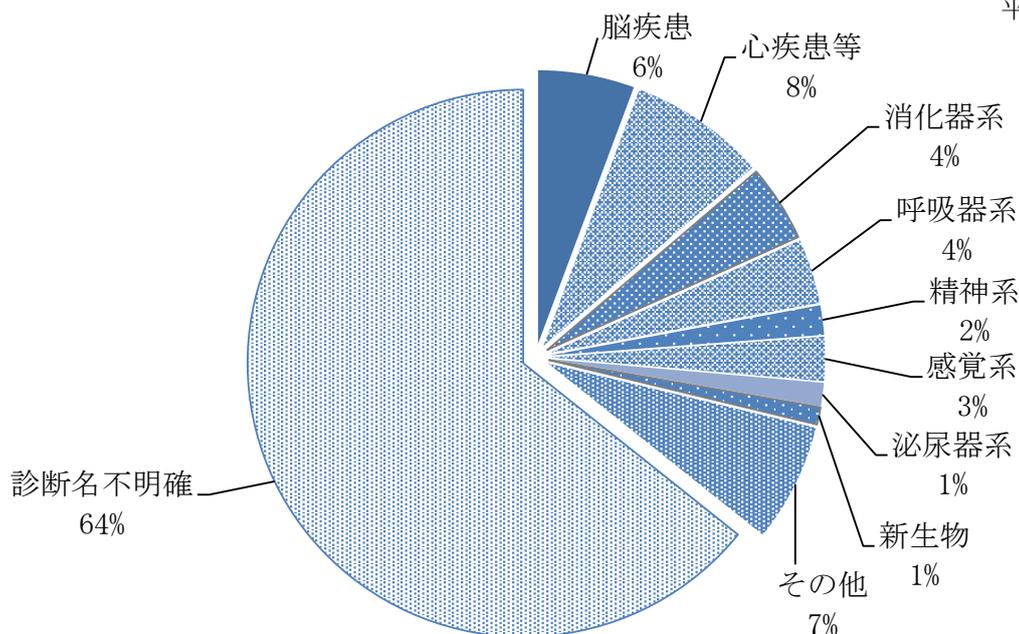
[備考] 年齢区分は次によっている。

- 1 新生児 生後28日未満の者
- 2 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- 3 少年 満7歳以上満18歳未満の者
- 4 成人 満18歳以上満65歳未満の者
- 5 高齢者 満65歳以上の者

[備考] 救急搬送率は年齢区分別の総人口のうち救急搬送された人員の割合

急病にかかる疾病分類別搬送人員調

平成29年中



疾病分類別	脳疾患	心疾患等	消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿器系	新生物	その他	診断名不明確	合計
急病搬送人員	198	282	159	134	61	91	48	36	245	2,251	3,505

事故種別医療機関別搬送人員調

平成29年中

告示の別等	事故種別等	急病		交通事故		一般負傷		その他		合計		
		うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	
救急医療機関	国立	27	27	1	1	6	6	11	11	45	45	
	公立	3,104	9	344	14	686	4	285	7	4,419	34	
	公的	2	2			1	1	7	7	10	10	
	私的	病院	331	309	48	44	57	47	105	103	541	503
		診療所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3,464	347	393	59	750	58	408	128	5,015	592		
その他の医療機関	国立	3	3	0	0	0	0	1	1	4	4	
	公立	3	3	0	0	0	0	2	2	5	5	
	公的	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	
	私的	病院	29	14	0	0	3	1	12	7	44	22
		診療所	5	0	0	0	3	0	0	0	8	0
計	41	21	0	0	6	1	15	10	62	32		
合計	国立	30	30	1	1	6	6	12	12	49	49	
	公立	3,107	12	344	14	686	4	287	9	4,424	39	
	公的	3	3	0	0	1	1	7	7	11	11	
	私的	病院	360	323	48	44	60	48	117	110	585	525
		診療所	5	0	0	0	3	0	0	0	8	0
計	3,505	368	393	59	756	59	423	138	5,077	624		
その他の場所	接骨院等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		3,505	368	393	59	756	59	423	138	5,077	624	

救急隊員の行った応急処置状況

平成29年中

区 分	合 計	急 病	交 通	一 般 負 傷	そ の 他 *
合 計	15,965	11,184	1,490	2,016	1,275
止 血	89	22	10	46	11
固 定	341	16	225	67	33
人 工 呼 吸	61	52	1	2	6
心 マ ッ サ ー ジ	1	1	0	0	0
心 肺 蘇 生	133	114	4	6	9
酸 素 吸 入	807	535	139	45	88
気 道 確 保	232	199	5	9	19
経鼻エアウェイ	11	11	0	0	0
異 物 除 去	17	15	1	1	0
ラリゲアルマスク等	20	18	1	1	0
気 管 挿 管	4	4	0	0	0
保 温	122	60	41	11	10
被 覆	229	15	42	142	30
在 宅 療 法 継 続	83	81	0	1	1
除 細 動	15	13	1	0	1
静 脈 路 確 保	35	33	0	2	0
う ち CPA 前	5	4	0	1	0
う ち CPA 後	30	29	0	1	0
薬 剤 投 与	18	17	0	1	0
そ の 他	6	4	0	1	1
血 圧 測 定	4,786	3,315	381	693	397
心 音・呼 吸 音 聴 取	1,143	862	127	77	77
血 中 酸 素 飽 和 度 測 定	4,906	3,388	388	723	407
心 電 図	2,953	2,452	126	190	185
血 糖 測 定	5	5	0	0	0
エ ピ ペ ン 投 与	0	0	0	0	0
ブ ド ウ 糖 投 与	0	0	0	0	0

*その他は急病・交通・一般負傷以外の種別をいう。

応急手当普及啓発実施状況

種別 年度	救命講習		上級救命講習		応急手当講習	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
平成5～19年度	853	22,367	28	536	250	9,346
平成20年度	125	3,111	2	49	19	662
平成21年度	112	3,045	2	34	20	1,353
平成22年度	96	2,455	2	34	13	867
平成23年度	104	2,760	2	35	18	963
平成24年度	143	3,879	2	44	18	809
平成25年度	113	3,216	3	41	11	305
平成26年度	149	3,660	2	36	2	410
平成27年度	144	3,996	3	71	11	340
平成28年度	138	3,945	2	29	3	212
平成29年度	92	3,887	1	22	5	656
合 計	2,069	56,321	49	931	370	15,923

救命率の推移

(%)

区分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
瀬戸市	50.0	50.0	40.0	16.7	16.7
愛知県	35.6	34.1	34.6	38.2	
全国	22.4	23.0	28.4	25.1	

※ 救命率とは、①目撃のある突然心肺停止である、②除細動が必要な心電図波形（Vf・脈のないVT）である救急患者を救急搬送し、1か月後に社会復帰できた割合をいう。

※ 平成29年中の愛知県及び全国の「救命率」は平成30年5月現在未発表

バイスタンダーCPR実施状況

項目		平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			平成29年		
		発生件数	実施件数	実施率(%)												
目撃	あり	52	37	71.2	41	26	63.4	51	36	70.6	44	28	63.6	51	22	43.1
	なし	77	57	74.0	88	59	67.0	87	61	70.1	78	51	65.4	85	59	69.4
	合計	129	94	72.9	129	85	65.9	138	97	70.3	122	79	64.8	136	81	59.6

※ バイスタンダーCPRとは「救急現場に居合わせた人が行う心肺蘇生法」をいう。

AEDステーション認定事業所数

瀬戸市AEDステーション認定制度により、AED（自動体外式除細動器）を設置の上、万が一に備え応急救護体制が整備されている事業所等を「せとAEDステーション」として認定しています。（平成19年12月14日制度開始）

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合計
認定数	61	8	3	7	20	10	6	38	1	25	2	181

10年間の現場到着平均所要時間の推移

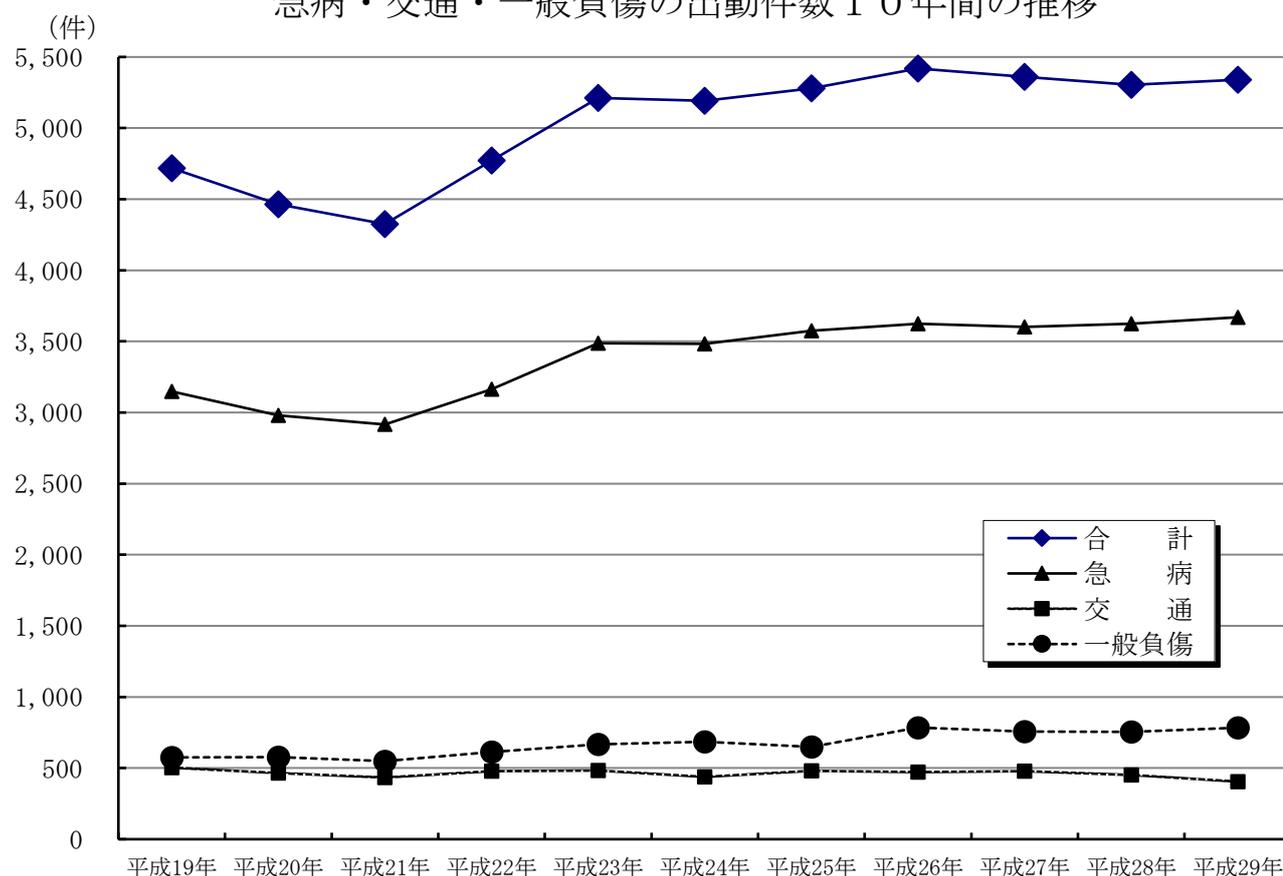


※ 平成29年中の全国の現場到着平均所要時間は平成30年5月現在未発表

10年間の救急出動件数

区分 年 別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	か 他 消 防 本 部 の 応 援
平成19年	4,717	9	0	0	503	40	27	575	25	68	3,149	321	3
平成20年	4,464	9	0	0	465	48	30	577	22	53	2,981	279	5
平成21年	4,325	7	0	0	434	41	31	549	33	43	2,916	271	6
平成22年	4,772	1	0	2	479	53	38	613	22	52	3,164	348	12
平成23年	5,212	9	0	1	482	47	57	667	30	61	3,487	371	17
平成24年	5,192	2	0	0	437	58	32	685	33	46	3,482	417	5
平成25年	5,280	7	0	0	480	39	46	650	21	51	3,574	412	20
平成26年	5,419	5	0	0	472	35	35	785	16	36	3,625	410	44
平成27年	5,360	6	0	0	479	48	39	758	22	36	3,601	371	26
平成28年	5,304	5	0	0	452	60	44	754	12	43	3,624	310	23
平成29年	5,340	3	0	0	405	44	58	784	19	41	3,670	316	14

急病・交通・一般負傷の出動件数10年間の推移



事 故 別 救 助 出 動 状 況

平成29年中

区 分	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 害 等 災 害	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ 欠 事 故 及 び 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	
		建 物	建 物 以 外									
出 動 件 数	64	0	0	15	1	0	1	31	1	0	15	
活 動 件 数	26	0	0	4	1	0	0	14	0	0	7	
救 助 人 員	21	0	0	5	1	0	0	10	0	0	5	
出 動 人 員	878	0	0	235	18	0	14	365	15	0	231	
出 動 車 両	救助工作車	58	0	0	15	1	0	1	26	1	0	14
	ポンプ車	55	0	0	15	1	0	1	24	1	0	13
	はしご車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化学車	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	指揮車	64	0	0	15	1	0	1	30	1	0	16
	救急車	69	0	0	20	1	0	1	31	1	0	15
	その他	11	0	0	3	1	0	0	0	0	0	7
	合 計	258	0	0	69	5	0	4	111	4	0	65

連 区 別 救 助 出 動 件 数

平成29年中

区 分	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 害 等 災 害	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ 欠 事 故 及 び 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外								
合 計	64	0	0	15	1	0	1	31	1	0	15
道 泉	3			1				1			1
深 川	0										
古 瀬 戸	3			1				1			1
東 明	4			1				1			2
祖 母 懐	2							1			1
陶 原	4			2			1				1
長 根	2							2			
效 範	9			2				6			1
水 南	1			1							
水 野	4							2			2
西 陵	3			1				2			
原 山 台	4							3			1
萩 山 台	5			1				4			
八 幡 台	0										
品 野	5			3	1				1		
下 品 野	2			1							1
山 口	5							4			1
本 地	4							3			1
菱 野	3							1			2
新 郷 外	1			1							
管 外	0										

発 生 場 所 別 救 助 人 員

平成29年中

区 分		合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 災 害 等	よ る 機 械 に 事 故	よ る 建 物 等 に 事 故	酸 ガ ス 欠 事 故 及 び	破 裂 事 故	事 故 その 他 の
			建 物	建 物 以 外								
合 計		24	0	0	5	1	0	0	13	0	0	5
屋 内	住 居	13	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0
	そ の 他 の 屋 内	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
屋 路	高 速 道 路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 の 道 路	4	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1
外	水 面	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	山 岳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 の 屋 外	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
地 下		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

10年間の救助出動件数

区 分	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 災 害 等	よ る 機 械 に 事 故	よ る 建 物 等 に 事 故	酸 ガ ス 欠 事 故 及 び	破 裂 事 故	事 故 その 他 の
		建 物	建 物 以 外								
平 成 20 年	51	3	0	20	0	0	0	14	1	0	13
平 成 21 年	47	0	0	28	0	0	1	9	1	0	8
平 成 22 年	48	1	0	19	2	0	2	10	1	0	13
平 成 23 年	62	1	0	22	2	0	8	16	0	0	13
平 成 24 年	71	2	0	22	1	0	4	23	0	0	19
平 成 25 年	67	1	1	30	1	0	1	21	1	0	11
平 成 26 年	71	0	0	30	0	0	1	23	0	0	17
平 成 27 年	72	1	0	20	0	0	3	34	3	0	11
平 成 28 年	54	1	0	17	0	0	1	25	0	0	10
平 成 29 年	64	0	0	15	1	0	1	31	1	0	15

第6編

通信・気象

消防指令センターの主な施設状況

平成30年4月1日現在

施 設 名	数	施 設 名	数
指令台(Ⅱ型)	1式	自動出動指定装置	1式
地図等検索装置	1式	指令電送送信装置	1式
非常用指令設備	1式	Eメール指令装置	1式
FAX指令送信装置	1式	音声合成装置	1式
順次指令装置	1式	電源装置	1式
録音装置	1式	災害状況等案内装置	1式
出動車両運用管理装置(Ⅲ型)	1式	データ修正装置	1式
位置情報通知装置(統合型)	1式	無線統制台	1式
119番通報受信用FAX	1台	駆け込み通報電話	1式
119番プロトコール装置	2式	システム監視装置	1式
車両運用表示盤	1式	総合表示盤	1式
多目的表示装置	1式	高所カメラ施設	1式
消防用高所カメラ画像表示盤	1式	庁舎監視カメラ装置	1式
消防情報支援システム	1式	気象情報収集装置	1式
ファイル共有システム	1式	衛星携帯電話	1台
県救急医療情報システム端末装置	1式	県防災行政無線設備	1式
県震度情報ネットワーク端末装置	1式	あんしん電話装置	1式
eメール119番受信用FAX	1式	高度通信ネットワーク	1式

月別119番受信状況(受信時の種別)

平成29年中

種別	月別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計		7,109	630	552	575	537	589	552	614	597	581	552	655	675
火 災		66	4	10	12	13	3	7	2	2	5	0	7	1
救 急		5,239	491	422	421	397	420	391	462	451	422	423	439	500
救 助		52	5	7	4	2	9	6	1	1	6	3	2	6
警 戒		90	12	5	13	3	5	2	7	6	11	10	9	7
災 害		6	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0
問 い 合 わ せ		278	26	24	19	15	21	25	31	32	26	25	14	20
い た ず ら		5	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0
誤 操 作 他		551	37	30	50	52	59	33	63	47	44	32	45	59
訓 練		395	15	25	28	20	37	51	20	25	48	35	54	37
試 験		427	39	29	28	35	35	36	22	33	19	23	83	45

無線施設状況

(消防署)

平成30年4月1日現在

署所	型式	種別	呼出名称	装備別	周波数帯	出力		
消防署	デジタル	防災行政用	ぼうさいせとしょうぼう	指令センター	400MHz	5W		
		消防用基地局	せとあさひしれい		260MHz 活動波1・2・3 主運用波	10W		
					260MHz 統制波1・2・3	5W		
		消防用陸上移動局	車載型	せと 1	ポンプ車	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	10W	
				せと 2	タンク車			
				せと 3	化学車			
				せと 10	ポンプ車			
				せと 32	梯子車			
				せと 43	救助工作車			
				せと 51	指揮車			
				せと 52				
				せと 61	広報車			
				せと 64				
				せと 71	輸送車			
				せと 73	連絡車			
				せと 74	査察車			
				きゅうきゅうせと 1	救急車			
				きゅうきゅうせと 2				
				可搬型	せと 53			指揮車
					せと 54			
					せと 55			
					せと 81			通信指令室
					せと 82			消防署
		携帯型	せと 100	携帯用				
			せと 101					
			せと 102					
			せと 110					
せと 111								
せと 121								
せと 131								
せと 199	救急車							
せと 299	救急車							
アナログ	署活動用 無線	携帯型	せと400番台18機	携帯用	400MHz	1W		

(東分署)

署所	型式	種 別		呼出名称	装備別	周波数帯	出力
東分署	デジタル	消防用陸上移動局	車載型	せと 6	タンク車	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	10W
				せと 8	ポンプ車		
				せと 75	輸送車		
				せと 76	査察車		
				せと 77	水槽車		
				きゅうきゅうせと 3	救急車		
			せと 83	東分署	5W		
			せと 210	携帯用			
			せと 211				
			せと 221				
			せと 399				
			せと 212				救急車
	アナログ	署活動用無線	携帯型	せと500番台10機	携帯用	400MHz	1W

(南分署)

署所	型式	種 別		呼出名称	装備別	周波数帯	出力
南分署	デジタル	消防用陸上移動局	車載型	せと 5	タンク車	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	10W
				せと 9	ポンプ車		
				せと 31	空中活動車		
				せと 62	広報車		
				せと 72	積載車		
				きゅうきゅうせと 5	救急車		
			せと 84	南分署	5W		
			せと 310	携帯用			
			せと 311				
			せと 321				
			せと 599				
			せと 312				救急車
	アナログ	署活動用無線	携帯型	せと600番台10機	携帯用	400MHz	1W

(救急対策室)

型式	種 別		呼出名称	装備別	周波数帯	出力	
救急対策室	デジタル	消防用陸上移動局	車載型	きゅうきゅうせと 6	救急車	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	
			可搬型	せと 85	救急対策室		10W
			携帯型	せと 141	携帯用		
	アナログ	署活動用無線	携帯型	せと400番台3機	救急車	400MHz	1W

(長大トンネル)

型式	種 別		呼出名称	装備別	周波数帯	出力
愛岐トンネル 猿投山トンネル	デジタル	消防用基地局	せとしょうぼう あいぎとんねる せとしょうぼう さなげやまとんねる	無線通信補助設備	260MHz	5W

(消防団)

署所	型式	種 別		呼出名称	装備別	周波数帯	出力
消防団	デジタル	消防用陸上移動局	携帯型	せとどうせん 1	携帯用	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	5W
				せとふかがわ 1			
				せとこせと 1			
				せととうめい 1			
				せとそぼかい 1			
				せととうげん 1			
				せとこうはん 1			
				せとすいなん 1			
				せとみずの 1			
				せともしなの 1			
				せとしなのだい 1			
				せとはたやま 1			
				せとやまぐち 1			

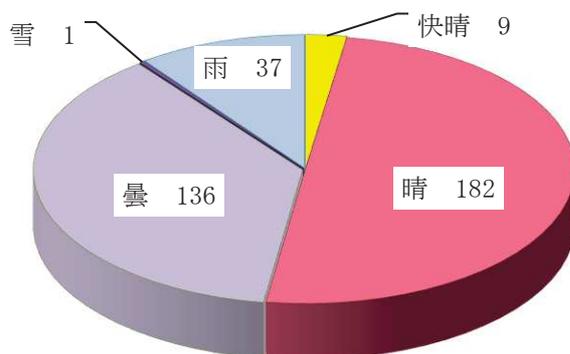
月別気象状況

平成29年中

項目		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	年間平均
風向	平均	NNW 2.2	NW 2.6	NW 2.6	NNW 2.5	S 2.0	S 2.3	S 1.9	S 2.0	NNW 2.0	NNW 1.9	ENE 1.8	ENE 2.1		2.2
	最高	NNW 9.1	NW 11.1	NW 10.0	SSE 10.4	NW 8.1	SE 12.2	NNW 9.5	SSE 10.0	SSE 16.9	NNW 12.4	NW 9.9	NNW 9.0		
風速 m/s	瞬間最大	WNW 16.5	NW 19.2	NW 17.8	NW 20.0	NW 13.2	SE 22.8	NNW 15.7	SSE 19.0	SSE 32.1	NNW 23.5	NW 16.4	NNW 15.4		
	平均	4.0	4.5	7.6	14.2	19.9	21.8	27.6	27.7	23.1	17.6	11.0	5.0		15.3
気温 ℃	最高	13.5	15.1	19.3	26.1	32.4	32.5	35.8	36.0	32.2	29.9	22.3	14.2		
	最低	-4.1	-2.5	-0.6	2.7	7.3	12.3	20.2	20.1	12.0	6.7	2.4	-2.2		
湿度 %	平均	70.3	65.0	64.6	65.2	67.5	67.6	72.1	71.9	67.7	76.7	68.2	65.0		68.5
	最低	24.4	28.0	22.7	19.9	13.8	17.5	22.5	34.9	19.9	25.8	25.0	27.4		
降雨 mm	降水日数	5	7	7	11	7	8	15	14	12	17	9	5	117	
	総降水量	21.5	41.5	59.0	147.5	63.5	130.5	233.0	238.5	93.0	410.5	49.0	27.5	1,515	
	10分間最大	0.5	2.0	1.0	3.5	2.5	5.0	25.5	11.5	3.0	6.5	1.0	2.0		
	1時間最大	3.0	5.5	5.0	11.5	6.5	13.5	60.0	31.0	11.5	26.0	3.5	11.0		
	最大日雨量	14.5	19.5	30.0	42.0	15.5	59.5	98.0	72.5	26.0	99.0	14.0	20.0		
降雪 cm	降雪日数	2	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3	8	
	総積雪量	5.0	3.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0	10.0	
	最高積雪	3.0	3.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0		

天候別日数調

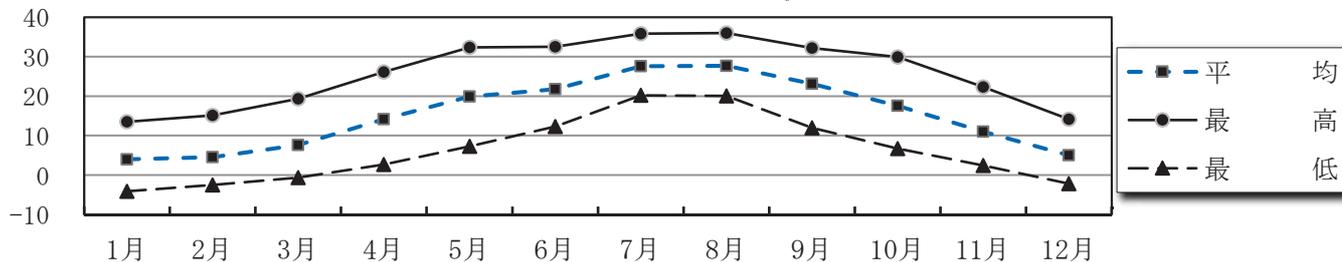
平成29年中
観測9時
単位：日



(℃)

月別気温状況

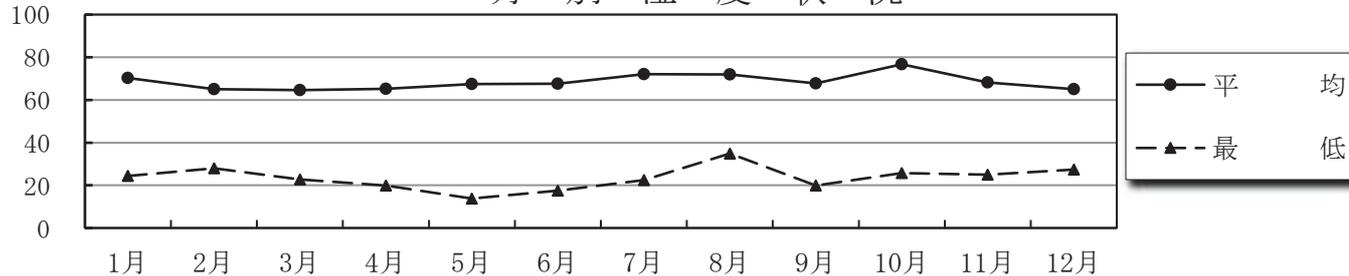
平成29年中



(%)

月別湿度状況

平成29年中



第7編

資料

消 防 本 部 の 沿 革

明治 23 年 5 月	東春日井郡瀬戸村に 2 部編成定員 1 0 0 名をもって消防組を発足
明治 27 年 2 月	勅令及び県令により公設消防を組織し、瀬戸町せ組・と組で構成
明治 29 年 7 月	今村地区に私設消防組を設立
明治 39 年	幡山村に私設消防組を設立
大正 2 年	瀬戸町せ組・と組を公設消防第 1 部・第 2 部に改称（水野村に私設消防組設立、品野村に消防組を編成）
大正 7 年	瀬戸町公設消防組に第 3 部を増加編成
大正 12 年 2 月	水野村上水野消防組が公設消防組に認可
大正 14 年	赤津村公設消防組を瀬戸町公設消防組に編入し、第 4 部に増加編成
大正 15 年 12 月	水野村中水野、下水野消防組が公設消防組に認可、安土・南山・曾野私設消防組編成
昭和 4 年 10 月	市制施行に伴い瀬戸市消防組と改編、4 部 1 0 8 名で構成
昭和 14 年 4 月	瀬戸市警防団本部常備消防部として発足し、警防団 6 分団、総員 9 0 0 名、消防ポンプ車 5 台、三輪ポンプ車 1 台、腕用ポンプ 5 台を配備、戦中は防空業務に活躍
昭和 22 年 10 月	警防団本部常備消防部を解散し、同時に瀬戸市常備消防部として発足、業務開始
昭和 26 年 5 月	東春日井郡水野村との合併に伴い、水野村消防団を統合
8 月	瀬戸市消防本部設置
昭和 28 年 2 月	集中豪雨による防災活動の功績により、建設大臣表彰を受ける。
4 月	隣接品野町の大火による応援消防活動の功績により、愛知県消防協会会長表彰を受ける。
昭和 30 年 2 月	愛知郡幡山村との合併に伴い、幡山村消防団を統合
昭和 32 年 2 月	消防施設の充実により、日本消防協会会長表彰を受ける。
4 月	瀬戸市危険物安全協会設立
昭和 33 年 1 月	集中豪雨による防災、人命救助活動等の功績により、愛知県消防協会会長表彰で竿頭綬を受ける。
3 月	同上により、国家消防本部長表彰を受ける。
昭和 34 年 1 月	自治体消防発足 1 0 周年記念により、愛知県消防協会会長表彰で竿頭綬を受ける。
4 月	品野町との合併に伴い、品野町消防団を統合
7 月	瀬戸市消防音楽隊を発足
10 月	消防中短波無線局の設置（基地 1、移動 2、携帯 2）
12 月	伊勢湾台風（1 5 号）の復旧活動の功績により、中部日本災害対策本部長表彰を受ける。
昭和 35 年 4 月	消防団 1 団、1 3 分団 3 2 9 名で構成
9 月	瀬戸市消防署設置
昭和 36 年 4 月	常備消防力の増強を図り、1 3 分団 2 8 9 名に減員
6 月	ロータリークラブより 1 B 型救急車の寄贈を受け、救急業務を開始
昭和 37 年 3 月	消防庁告示による常設中心主義を目標とし、消防庁舎新築工事着手
4 月	瀬戸市火災予防条例の施行
10 月	消防庁舎竣工
昭和 40 年 3 月	瀬戸信用金庫から 1 B 型救急車の寄贈を受け、2 台体制による業務開始
8 月	中短波無線を超短波無線に更新（基地 1、移動 3）
9 月	市役所の愛知県行政無線を消防本部に移管
昭和 41 年 4 月	消防団の定員を 1 2 分団 2 6 7 名に減員
昭和 43 年 1 月	化学消防ポンプ自動車配備
5 月	瀬戸市指定水利規程の施行
6 月	瀬戸市火災警報規則の施行
昭和 44 年 3 月	消防力の充実により、消防庁長官から竿頭綬を受ける。
昭和 45 年 4 月	消防署救助隊の発足
9 月	防災体制の確立、防災思想の普及等の功績により、消防庁長官表彰を受ける。
昭和 46 年 9 月	市内で発生した都市ガス漏洩事故の災害防ぎょ活動の功績により、消防庁長官表彰を受ける。
11 月	同上により、愛知県知事表彰を受ける。
12 月	新消防庁舎新築工事着手
昭和 47 年 8 月	新消防庁舎竣工 消防本部、消防署は新庁舎に移転し、旧庁舎は東分署として消防業務開始
	1 5 m 級屈折梯子付消防ポンプ車を本署に配備
昭和 48 年 5 月	瀬戸尾張旭当直医問い合わせテレホンサービスの開始

昭和 49 年	2 月	救助工作車を東分署に配備
	4 月	消防本部に総務課を設置
	6 月	愛知県防災行政無線の整備計画による防災行政無線装置の更新工事完了
昭和 50 年	10 月	定光寺に火気使用制限区域の設定
	12 月	保育器の使用による未熟児搬送に関し、瀬戸旭医師会と救急業務実施協定の締結
昭和 52 年	6 月	瀬戸信用金庫から 2 B 型救急車の寄贈を受け、東分署に配備
	7 月	瀬戸市自衛消防連絡協議会設立
	11 月	3 0 m 級梯子付消防ポンプ車を消防署に配備 1 5 m 級屈折梯子付消防ポンプ車を東分署に配備
昭和 53 年	3 月	自治体消防発足 3 0 周年記念大会の開催 瀬戸社会福祉事業協力会から査察車兼広報車（軽四輪）の寄贈を受け、消防署に配備
昭和 54 年	12 月	消防救急指令装置 B 型及び地図検索装置の導入
昭和 55 年	10 月	消防水利整備計画に耐震性貯水槽（4 0 m ³ ）の設置を策定
昭和 56 年	9 月	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ車（給水装置付）の寄贈を受け、消防署に配備
	10 月	日本消防協会から 2 B 型救急車の寄贈を受け、消防署に更新配備 消防署三部制勤務の試行開始
昭和 58 年	4 月	消防署三部制勤務の開始 小型動力ポンプ積載車を定光寺町自警団に配備
	10 月	化学消防ポンプ車を東分署に配備し、旧車両を消防署に配備
昭和 59 年	3 月	大型照明電源車を消防署に配備
昭和 60 年	3 月	水南分団詰所を移転新築
	8 月	現場指揮本部等の体制強化を図るため、消防署に指令車を増強配備
	10 月	陶原分団詰所を移転新築
昭和 61 年	6 月	愛知県防災行政無線の災害通信メディア体系を整備し、防災行政事務に関する通信網を改善
	12 月	火災救急統計用のパソコンを導入
昭和 62 年	1 月	上品野分団を品野台分団に名称変更
	2 月	火災情報テレホンサービスの開始
昭和 63 年	3 月	品野台分団詰所を移転新築 防火思想の普及、消防施設の整備等の功績により、消防庁長官から表彰旗を受ける。
平成 元 年	3 月	自治体消防発足 4 0 周年記念大会の開催
	4 月	瀬戸市婦人消防隊連絡協議会設立
	10 月	品野町 1 丁目に東分署移転新築、旧庁舎は南出張所として消防業務を開始
平成 2 年	3 月	消防緊急情報システムの運用開始 救急波消防無線の導入整備
	11 月	第 8 回愛知県防火推進大会の開催
平成 3 年	2 月	団資機材搬送車を水野分団に配備
	3 月	南出張所を南分署に名称変更、南分署庁舎新築
	10 月	団資機材搬送車を幡山分団に配備 救助工作車を消防署に配備し、旧車両を東分署に配備
	11 月	3 8 m 級梯子付消防自動車消防署に配備し、旧車両を南分署に配備 消防団が消防活動の充実等の功績により、愛知県消防協会長から特別功績旗を受ける。
平成 4 年	3 月	東明分団詰所を移転新築
	7 月	団資機材搬送車を東明分団に配備
	10 月	消防署指令車を更新配備 1 8 m 級梯子付消防自動車を東分署に更新配備 第 8 回全国婦人消防練法大会に愛知県代表として瀬戸市婦人消防隊が出場（横浜市）
平成 5 年	4 月	消防本部に予防課、消防署に救急係を設置
	9 月	救急高度化推進計画に基づき、高度化資器材の一部を配備
	10 月	水 II 型消防ポンプ自動車を本署に更新配備
平成 6 年	2 月	C D ー I 型消防ポンプ自動車を水野分団に更新配備
	3 月	団資機材搬送車を下品野分団に配備
	4 月	東分署に救急係を設置
	7 月	第 3 9 回愛知県消防練法大会を市民公園陸上競技場で開催
	11 月	水 II 型消防ポンプ自動車を南分署に更新配備

平成 7 年	2 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を幡山分団に更新配備
	10 月	高規格救急車を消防署に更新配備 防災資機材地域備蓄倉庫新築
平成 8 年	1 月	自衛消防隊と大規模災害時における消防業務協定締結（19 事業所）
	2 月	普通救命講習会の実施
	3 月	水Ⅱ型消防ポンプ自動車を東分署に更新配備
	12 月	高規格救急車を東分署に更新配備
平成 9 年	1 月	下品野分団詰所を新築
	4 月	南分署に救急係を設置
	12 月	30m級梯子付消防自動車を南分署に更新配備
平成 10 年	1 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を祖母懐分団に更新配備
	9 月	自治体消防発足 50 周年記念大会の開催 高規格救急車を南分署に更新配備
平成 11 年	11 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を深川分団に更新配備
	12 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を東分署に更新配備
平成 12 年	4 月	瀬戸市少年消防クラブ設立
	5 月	二市一町救急業務連絡協議会の設立
	10 月	公立陶生病院にて救急隊臨床実習を開始 C D—I 型消防ポンプ自動車を南分署に更新配備 C D—I 型消防ポンプ自動車を古瀬戸分団に更新配備
	12 月	消防緊急通信指令施設を更新し、運用開始、発信地表示装置を導入 消防指揮車を消防署に更新配備
平成 13 年	1 月	消防本部庁舎の耐震工事の施工（仮眠室個室化）
	3 月	名古屋市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	7 月	消防本部公式ホームページの開設
	11 月	救急隊病院内臨床実習・医師救急車同乗研修（ワークステーション）の開始
平成 14 年	3 月	瀬戸市消防本部シンボルマークを「ファイ太くん」に決定 消防職員に災害情報メールの配信開始
	4 月	応急手当普及推進計画（普通救命講習目標年間 3,000 人）の開始
	5 月	消防団員に災害情報メールの配信開始
	10 月	生物・化学テロ対策として消防庁から資機材を受領（化学防護服・除染シャワー・各種検知資機材） 東分署の改修工事を施工（仮眠室個室化）
	12 月	聴覚障害者を対象に災害情報メールの配信開始
平成 15 年	2 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を品野台分団に更新配備 消防署住民票取次ぎサービス開始 祖母懐公民館に 100m ³ 型耐震性貯水槽を設置
	3 月	祖母懐分団詰所を移転新築
	4 月	副団長 3 名制、団員入団資格を市内在住・在勤に拡大
	6 月	公立陶生病院「救急業務高度化推進業務委託契約」締結
	8 月	愛知医大「救急業務高度化推進業務委託契約」締結 救急隊包括的指示除細動運用開始
	10 月	小型動力ポンプ積載車を定光寺町自警団に更新配備 小型動力ポンプ付水槽車（10t）を東分署に配備 愛知県・瀬戸市総合防災訓練（林野火災）を実施 （2005 年日本国際博覧会東ターミナルゾーン予定地）
	12 月	瀬戸市消防団ラッパ隊発足 消防高所監視カメラ運用開始
平成 16 年	2 月	南分署の改修工事を施工（仮眠室個室化）
	3 月	「救命手当のできる店」を発足
	10 月	二市一町救急業務連絡協議会 BC テロ災害対応訓練を実施
	11 月	市内公共施設（4 箇所）に AED を設置（県内初）
平成 17 年	2 月	消防自動二輪車（赤バイ）を日本消防協会から寄贈を受ける（3 台） 消防自動二輪車隊（赤バイ隊）を発足 C D—I 型消防ポンプ自動車を東明分団に更新配備

	3月	女性消防団員（15名）を採用 愛知万博総合防災訓練を実施 東海環状自動車道総合防災訓練を実施（6消防本部合同） 瀬戸市消防署万博分署設置（万博期間中）
	9月	瀬戸市消防署万博分署を閉署
	10月	財団法人2005年日本国際博覧会協会から救急自動車の寄贈を受け東分署に更新配備 携帯電話による119番直接受信開始
平成18年	2月	CD-I型消防ポンプ自動車を水南分団に更新配備 災害支援消防団員（OB団員）を任命（12名）
	3月	市道拡張工事に伴い、効範分団詰所を移転新築 尾張旭市及び長久手町と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	4月	消防本部1課体制へ移行、グループ制を導入
	5月	春日井市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	8月	岐阜県土岐市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結 輸送車（パワーゲート付）を消防署に更新配備
	9月	岐阜県多治見市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
平成19年	11月	救助工作車II型を消防署に更新配備
	2月	38m級梯子付消防自動車を廃車し、30m級と18m級の梯子付消防自動車2台体制に変更
	4月	消防署グループ制を導入
	5月	特別救急隊の運用開始（毎週木曜日）
	11月	CD-I型消防ポンプ自動車を下品野分団に更新配備
	12月	瀬戸市AEDステーション認定制度創設
平成20年	8月	広報車を南分署に更新配備
	10月	輸送車（パワーゲート付）を東分署に配備
	11月	団資機材搬送車を水野分団に更新配備
平成21年	3月	水II型消防ポンプ自動車（クラスA消火泡混合装置付）を消防署に更新配備
	7月	特別救急隊の運用日拡充（火、木曜日）
	8月	査察車を東分署に更新配備
	10月	団資機材搬送車を幡山分団に更新配備
	11月	消防団安全安心パトロール開始
平成22年	2月	CD-I型消防ポンプ自動車を水野分団に更新配備
	4月	特別救急隊の運用日拡充（火、水、木、金曜日）
	7月	団資機材搬送車を東明分団に更新配備 救急安心たまご事業を開始
	8月	高規格救急車を消防署に更新配備
	10月	ガンバレ消防団応援事業所創設
平成23年	1月	CD-I型消防ポンプ自動車を幡山分団に更新配備
	3月	水II型消防ポンプ自動車（CAFS装置付）を南分署に更新配備
	5月	特別救急隊の運用日拡充（月～金曜日） 幼年消防クラブ設立
	12月	CD-I型消防ポンプ自動車を本署に更新配備
平成24年	2月	水II型消防ポンプ自動車（CAFS装置付）を東分署に更新配備 団資機材搬送車を下品野分団に更新配備
	3月	高規格救急車を南分署に更新配備
	7月	ハートフル講座を開始
	11月	消防団訓練場を開設 わんわん消防隊結成式を開催
	12月	瀬戸・尾張旭消防指令センターの運用開始
平成25年	2月	塩草町地内に耐震性貯水槽（40t）を新設
	3月	高規格救急車を消防署に更新配備
	12月	消防団応援サポーター制度開始
平成26年	1月	新救急ワークステーション施設運用開始 塩草町地内に耐震性貯水槽（40t）を新設
	3月	消防救急デジタル無線の運用開始 空中活動消防車を南分署にはしご車の更新車両として配備

	4月	地域防災担当制を導入
平成 27 年	10月	御嶽山の噴火災害に係る緊急消防援助隊派遣（5名）
	2月	広報61号車を愛知県共済生活協同組合から寄贈を受ける
	3月	道泉分団詰所の竣工
	5月	瀬戸市消防団による大学生等活動認定制度開始
	7月	公共施設AEDの屋外設置開始（県内初）
平成 28 年	10月	消防署全署所のオールトップ勤務開始（通信を除く） 救急ワークステーション24時間体制の運用開始
	12月	緊急通報メール119番の受信業務開始
	2月	指揮車を消防署に更新配備
	3月	高規格救急車を東分署に更新配備 救急隊4名出場開始
	4月	山口分団詰所の竣工。山口分団車及び搬送6号車（消防庁無償貸付）の配備 消防署救急対策室を設置 山口分団・女性分団の設立
平成 29 年	10月	緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練の実施
	12月	住宅密集区域火災における出動体制を増強
	2月	深川連区無火災1000日達成。市長特別感謝状の授与
	3月	CD-I型消防ポンプ自動車を東分署に更新配備 深川分団詰所の竣工
	5月	災害時協力事業所登録制度の創設
平成 30 年	6月	消防本部ハラスメント防止宣言 住宅防火普及員認定制度の創設
	8月	瀬戸市危険物安全協会から無人航空機及び三輪バイクの寄贈を受け、消防署に配備
	10月	児童優秀防火作品による防火カレンダー作製
	1月	CD-I型消防ポンプ自動車を祖母懐分団に更新配備
	3月	輸送車（パワーゲート付）を積載車の更新車両として南分署に配備 高規格救急車を1台増強
	4月	消防署1隊増強（消防担当新設） 三市消防団連絡協議会発足

消 防 相 互 応 援 協 定

消防組織法第39条第2項の規定に基づき、消防の相互応援について次のとおり協定を締結している。

	締 結 先 機 関 名	協定締結年月日	摘 要
愛 知 県	尾 張 旭 市	昭和27年11月28日	隣接市との応援協定
	春 日 井 市	昭和39年10月1日	〃
	豊 田 市	昭和43年8月1日	〃
	名 古 屋 市	昭和53年6月1日	〃
	尾 三 消 防 本 部	平成30年4月1日	〃
	全 市 町 村	平成2年4月1日	県内広域応援協定
岐 阜 県 等	名古屋市他23消防本部 一部事務組合	平成28年3月15日	愛知県下高速道路における 消防相互応援協定
	多 治 見 市	昭和44年2月1日	隣接市との応援協定
	土 岐 市	昭和58年1月31日	〃



《瀬戸市のロゴマーク・キャッチコピー》

■ロゴマークについて

瀬戸の魅力である「自然と共生しながら育まれてきたものづくり文化」「やきものづくりとも深く関わってきた里山」のイメージを伝えるコンテンツ(狛犬、椿、オオサンショウウオ、里山、瀬戸川、瀬戸焼、登り窯、窯垣)を六角形に配置しました。

■「いいもん せともん」について

「せともん」＝「瀬戸物」陶磁器の代名詞として全国的に定着している言葉。「もん」＝モノだけでなく、ヒト、コトなど、瀬戸の多様な物事を言い表しています。また、「もん」の響きが、「誇り」、「職人氣質」を感じさせ、瀬戸の気風を表しています。

平成30年版消防年報

編集 瀬戸市消防本部 消防課

発行 平成30年7月

〒489-0983 愛知県瀬戸市苗場町101

TEL 0561(85)0479(予防広報担当)

FAX 0561(21)6605

URL ▶ <http://www.city.seto.aichi.jp/bunya/toukei-nenpou/>

E-mail ▶ shobohonbu@city.seto.lg.jp